

教 育 総 務 課

○ 総務係関係

Ⅰ 教育委員会の構成

職 名	氏 名	任 期	備 考
教育長	小林 貴法	令和7年4月1日 ～ 令和10年3月31日	
教育長 職務代理者	中村 文大	令和4年12月25日 ～ 令和8年12月24日	教育長職務代理者就任 令和7年12月23日
委 員	右京 博巳	令和5年12月23日 ～ 令和9年12月22日	
委 員	駒田 聡子	令和6年11月1日 ～ 令和10年10月31日	
委 員	中西 康裕	令和6年12月23日 ～ 令和10年12月22日	
委 員	畑井 祐樹	令和7年12月23日 ～ 令和11年12月22日	

2 教育委員会の会議

(1) 委員会開催状況

開 会 日 数		委員出席日数	議案及び 協議件数	処 理 状 況	
				可 決	否 決
委 員 会	10日	10日	50件	50件	0件
協 議 会	12日	12日	11件	—	—

(2) 委員会審議事項

第1回（令和7年4月10日）

○学校運営協議会委員の任命について

第2回（令和7年5月19日）

○令和7年度教育関係補正予算（第1号）について

○伊勢市立公民館条例の一部改正について

○伊勢市学校図書館活性化支援事業業務受託者選定委員会規則の制定について

○学校運営協議会委員の任命について

○伊勢市奨学生選考委員会委員の委嘱又は任命について

○伊勢市社会教育委員兼伊勢市立公民館運営審議会委員の辞任の承認及び補欠委員の委嘱について

○伊勢市スポーツ推進審議会委員の任命について

第3回（令和7年6月16日）

- 伊勢市職員等の旅費に関する条例等の一部改正について
- 学習者用端末の取得について
- 小俣図書館空調設備改修工事の請負契約について
- 令和7年度「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価」報告書について
- 学校運営協議会委員の任命について
- 図書館協議会委員の任命について

臨時（令和7年6月26日 回付）

- 令和7年度教育関係補正予算（第2号）について
- 職員の人事異動について

第4回（令和7年7月16日）

- 伊勢市教育委員会事務決裁規程の一部改正について
- 児童及び生徒派遣費交付規程の廃止について

臨時（令和7年8月25日 回付）

- 伊勢フットボールヴィレッジAピッチ人工芝張替工事の請負契約について
- 奨学生の決定について
- 令和7年度教育関係補正予算（第3号）について

第5回（令和7年9月26日）

- 伊勢市社会教育委員兼伊勢市立公民館運営審議会委員の辞任の承認及び補欠委員の委嘱について

第6回（令和7年11月19日）

- 令和7年度教育関係補正予算（第4号、第5号）について
- 伊勢市附属機関条例の一部改正について
- 伊勢市立公民館条例の一部改正について
- 伊勢市学習等供用施設条例の一部改正について
- 伊勢市立高麗広公民館の指定管理者の指定について
- 図書館協議会委員の任命について

臨時（令和7年11月26日 回付）

- 令和8年度伊勢市立小中学校教職員の人事異動方針について

第7回（令和7年12月18日）

- 伊勢市教育委員会傍聴規則の一部改正について

第8回（令和8年1月21日）

- 伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画策定委員会規則の制定について
- 令和8年度学校業務員、給食調理士及び幼稚園教諭の人事異動方針について

第9回（令和8年2月12日）

- 令和8年度教育関係予算について
- 令和7年度教育関係補正予算（第9号）について
- 伊勢市立公民館条例の一部改正について
- 伊勢市学習等供用施設条例の一部改正について
- 伊勢市立の小学校及び中学校の管理運営に関する規則及び伊勢市立幼稚園規則の一部改正について

臨時（令和8年2月20日 回付）

- 伊勢市立幼稚園条例等の一部改正について

臨時（令和8年3月3日 回付）

- 伊勢市いじめ問題対策委員会臨時委員の委嘱について
- 校長・教頭異動内申書について
- 教諭等異動内申書について
- 伊勢市いじめ問題対策委員会委員の委嘱について

臨時（令和8年3月18日 回付）

- 令和7年度教育関係補正予算（第10号）について

臨時（令和8年3月23日 回付）

- 職員の人事異動について
- 職員の任免に関する教育委員会の意見の聴取について

第10回（令和8年3月26日）

- 伊勢市教育委員会事務局等処務規則の一部改正について
- 伊勢市立幼稚園規則の一部改正について
- 伊勢市学校図書館活性化支援事業業務受託者選定委員会規則の廃止について
- 令和8年度伊勢市幼稚園・小中学校教育方針について
- 伊勢市人権教育基本方針の改定について

3 スクールバス等運行関係

通学安全対策事業（款）11. 教育費（項）1. 教育総務費（目）3. 教育振興費

通学安全対策事業（教育総務課）・・・ 支出額 85,002,064円

道路・交通事情等により通学に危険等が生じる遠距離通学等児童生徒に対してスクールバス等を運行することで、安全な通学環境を整備した。

(1) 伊勢宮川中学校

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
津村町地内 ほ か	伊勢市立伊勢宮 川中学校スクー ルバス運行業務 委託(令和5年度 ～令和7年度)	スクールバス運行業 務	円 50,497,150 【契約単価】 1日あたり 辻久留台ルート 授業日・朝練あり 47,960 授業日・朝練なし 41,910 部活動日 28,930 津村ルート 授業日・朝練あり 67,430 授業日・朝練なし 59,180 部活動日 41,250 円座・上野ルート 授業日・朝練あり 84,260 授業日・朝練なし 66,330 部活動日 44,110	5. 4. 1	8. 3. 31

(2) 二見中学校

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
二 見 町 光の街地 内 ほ か	伊勢市立二見中学 校スクールタクシ ー運行業務委託	松下地区の生徒を対 象としたスクールタ クシー運行業務	円 391,240 【契約単価】 片道1運行あたり ～3月15日 (1)迎車料 150 (2)初乗運賃 650 (3)距離制運賃 90 (4)時間距離 併用制運賃 90 3月16日～ (1)迎車料 200 (2)初乗運賃 700 (3)距離制運賃 100 (4)時間距離 併用制運賃 100	7. 4. 1	8. 3. 31

(3) 二見浦小学校

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
二 見 町 光 の 街 地 内 ほ か	伊勢市立二見浦小 学校スクールバス 運行業務委託(令 和5年度～令和7年 度)	スクールバス運行業 務	円 23,776,280 【契約単価】 1日あたり 松下・江ルート 39,490 今一色ルート 40,920 茶屋ルート 38,280	5. 4. 1	8. 3. 31
二 見 町 今 一 色 地 内	令和7年度旧今一 色小学校解錠等業 務委託	旧今一色小学校の解 錠・施錠	280,971 【契約単価】 業務実施時間1時 間あたり 1,412	7. 4. 4	8. 3. 31
二 見 町 松 下 地 内	令和7年度池の浦 乗降場見守り業務 委託	池の浦乗降場での児 童の見守り	244,041 【契約単価】 業務実施時間1時 間あたり 2,017	7. 9. 1	8. 3. 31
計	3件	—	24,301,292	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

(4) みなと小学校

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
大 湊 町 地 内	伊勢市立みなと小 学校スクールバス 運行業務委託(令 和6年度～令和8年 度)	スクールバス運行業 務	円 7,892,500 【契約単価】 1日あたり 登校3便・下校2便 38,500 登校3便・下校3便 38,500	6. 4. 1	9. 3. 31

小 木 町 地 内 ほ か	伊勢市立みなと小 学校スクールタク シー運行業務委託	国道23号以南の児童 を対象としたスクー ルタクシー運行業務	円 1,776,640 【契約単価】 片道1運行あたり ～3月15日 【普通車】 (1)迎車料 150 (2)初乗運賃 650 (3)距離制運賃 90 (4)時間距離 併用制運賃 90 【特定大型車】 (1)迎車料 150 (2)初乗運賃 780 (3)距離制運賃 100 (4)時間距離 併用制運賃 100 3月16日～ 【普通車】 (1)迎車料 200 (2)初乗運賃 700 (3)距離制運賃 100 (4)時間距離 併用制運賃 100 【特定大型車】 (1)迎車料 200 (2)初乗運賃 840 (3)距離制運賃 100 (4)時間距離 併用制運賃 100	7. 4. 1	8. 3. 31
			計		
計	2件	—	9,669,140	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

その他 高麗広登下校用タクシー借上料 21,130円

スクールバス転回場借上料 122,112円

同事業については、学校教育課が別途執行している。

4 幼稚園の状況

希望する小学校就学までの幼児に対して教育の機会を提供し、心身の発達の助長を図った。

園児数においては、97人(前年比－5人)、学級数においては7学級(前年比－1学級)であった。

令和7年5月1日現在

区分 幼稚園名	3歳児	4歳児	5歳児	計
小 俣	19人	24人	26人	69人

明 野	人 8	人 12	人 8	人 28
計	27	36	34	97

○ 学校給食係関係

Ⅰ 完全給食校及び給食延べ人数

(1) 単独自校調理方式（小学校22校）

学 校 名	延べ人数	学 校 名	延べ人数	学 校 名	延べ人数
進 修 小学校	人 29,785	宮 山 小学校	人 45,000	上 野 小学校	人 13,908
修 道 //	57,096	浜 郷 //	40,182	小 俣 //	118,736
有 緝 //	81,088	四 郷 //	20,720	明 野 //	142,142
早 修 //	21,090	豊浜東 //	8,418	御 蔭 //	59,760
中 島 //	39,312	豊浜西 //	21,294	二見浦 //	53,280
明 倫 //	52,072	北 浜 //	15,106	みなと //	40,860
厚 生 //	51,688	東大淀 //	12,025	計	978,502
佐 八 //	7,240	城 田 //	47,700		

(2) 共同調理場方式（中学校10校）

学 校 名	延べ人数	学 校 名	延べ人数	学 校 名	延べ人数
倉田山 中学校	人 68,736	五十鈴 中学校	人 57,060	伊勢宮川中学校	人 48,600
厚 生 //	67,140	二 見 //	34,547	桜 浜 //	34,726
港 //	33,831	小 俣 //	124,440	計	527,574
城 田 //	25,200	御 蔭 //	33,294		

2 給食費及び給食回数

区 分			給食費（児童・生徒1人当たり）		給食回数
完全 給食	小学校	低学年 （1年～3年）	月額 4,300円（4～7、9～2月分） 4,360円（3月分）	年額 47,360円	回 185
		高学年 （4年～6年）	月額 4,400円（4～7、9～2月分） 4,470円（3月分）	年額 48,470円	
	中学校		月額 4,800円（4～7、9～2月分） 4,740円（3月分）	年額 52,740円	180

3 献立について

文部科学省の学校給食摂取基準に基づき、主食は米飯週4回、パン週1回とし、地産地消を推進するとともに、児童生徒の嗜好も考慮した献立を作成した。単独自校調理方式（小学校22校）で統一献立とし、共同調理場方式（中学校10校）については単独自校調理方式の学校とは別献立で給食を実施した。

4 学校給食施設の整備

給食施設整備経費（款）11. 教育費（項）6. 保健体育費（目）3. 学校給食費

老朽化に伴う買い替え及び衛生管理上必要な備品の新規購入

品 名	納品校	メーカー・規格等	金 額
ガス回転釜	修道小学校	服部工業（株）GHS-32	円 484,000
ガス回転釜	明倫小学校	服部工業（株）GHS-32 2台	726,000
食器洗浄機	早修小学校	タニコー（株）TDWN-30RHW、モービル シンク	4,565,000
食器消毒保管機	御園小学校	ホシザキ（株）HSB-60DPB3	1,254,000
丸型フライヤー（ガス式）	上野小学校	東京板金工業（株）FGSHT-60-I	822,800
業務用冷蔵庫	早修小学校	ホシザキ（株）HR-120B-ML	311,300
業務用冷凍冷蔵庫	御園小学校	ホシザキ（株）HRF-120BFT	399,300
業務用冷凍冷蔵庫	豊浜東小学校 東大淀小学校	ホシザキ（株）HRF-63BT 各1台	601,700
検食保存用冷凍庫	明倫小学校	ホシザキ（株）HF-63BT-KS	321,640
牛乳保冷库	厚生中学校	ホシザキ（株）MR-90B	341,000
牛乳保冷库	御園中学校	ホシザキ（株）MR-90B	337,700
ガス給湯器	早修小学校	（株）ノーリツ GQ-3211WZ-3 2台	658,479
ガス給湯器	豊浜西小学校 東大淀小学校	リンナイ（株）RUXC-A3200W（豊浜西） （株）ノーリツ GQ-3210WZ-3（東大淀）	438,900
ガス給湯器	進修小学校	リンナイ（株）RUXC-A3200W	199,650
真空冷却機	四郷小学校	三浦工業（株）CMJ-20QE	3,575,000
計	15件		15,036,469

5 中学校給食施設管理経費

中学校給食共同調理場管理経費（款）11. 教育費（項）6. 保健体育費（目）3. 学校給食費

・・・ 支出額 206,937,072円

伊勢市中学校給食共同調理場運営のための業務委託を実施した。

委 託 名	委 託 業 者	委 託 金 額	着手	完了
伊勢市中学校給食共同調理場調理等業務委託	伊勢料理納入協同組合	円 105,916,800 （全体契約額 529,584,000）	4. 8. 1	9. 7. 31

伊勢市中学校給食配送業務委託	株式会社 シント物流	円 26,400,000 (全体契約額 132,000,000)	4. 8. 1	9. 7. 31
伊勢市中学校給食共同調理場警備業務委託	三重総合警備保障 株式会社	237,600 (全体契約額 1,188,000)	5. 4. 1	10. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場電気保安管理業務委託	一般財団法人 中部電気保安協会 伊勢営業所	640,200 (全体契約額 1,920,600)	5. 4. 1	8. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場ボイラー・ストレージタンク保守点検整備業務委託	杉山設備 株式会社	1,430,000	7. 4. 1	8. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場除害施設維持管理業務委託	ミライコネクト 株式会社 伊勢支店	2,164,800	7. 4. 1	8. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場除害施設汚泥処理業務委託	株式会社 ミヤテック	5,050,980	7. 4. 1	8. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場除害施設汚泥収集運搬業務委託	東洋プラント株式会社	2,132,636	7. 4. 1	8. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場可燃ごみ等収集運搬業務委託	ミライコネクト 株式会社 伊勢支店	499,350	7. 4. 1	8. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場生ごみ処理機維持管理業務委託	菱田建材 株式会社	605,000	7. 4. 1	8. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場芝生・植木等管理業務委託	有限会社小久保植樹園	1,364,000	7. 4. 23	8. 3. 27
共同調理場 洗浄室排水溝通管洗浄作業	株式会社 フジミ 三重営業所	33,000	7. 5. 15	7. 5. 16
伊勢市中学校給食共同調理場ばいじん量測定業務委託	株式会社 中部環境技術センター	151,800	7. 5. 29	8. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場冷凍・冷蔵庫保守点検業務委託	ホシザキ東海 株式会社 伊勢営業所	96,800	7. 6. 6	7. 7. 24
伊勢市中学校給食共同調理場消防設備点検業務委託	セッツ設備	99,000	7. 6. 16	8. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場空調設備保守点検業務委託	ホシザキ東海 株式会社 伊勢営業所	1,034,000	7. 6. 18	8. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場清掃業務委託	株式会社 フジミ 三重営業所	1,265,000	7. 6. 18	8. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場調理機器等点検整備業務委託	株式会社 三重特機	3,168,000	7. 6. 25	7. 8. 22
伊勢市中学校給食共同調理場受水槽清掃業務委託	有限会社 南部塗料	66,000	7. 7. 28	7. 8. 28

伊勢市中学校給食共同調理場地下貯蔵タンク漏洩点検業務委託	株式会社 中部環境技術センター	円 66,000	7. 8. 12	7. 9. 10
計	20件	152,420,966		

※合計は、各行の最上段を合算

その他経費 54,516,106円

○ 物価高騰対策関係

1 幼稚園食材費負担軽減事業

幼稚園食材費負担軽減事業（款）11. 教育費（項）4. 幼稚園費（目）1. 幼稚園費

・・・ 支出額 2,529,945円

原油価格・物価高騰の影響を受けている私立幼稚園の給食食材費の一部を市が支援をすることで、給食費への転嫁を防ぎ、保護者の経済的負担の軽減を図った。

また、公立幼稚園の昼食費（配食サービス）の増額分の一部を市が負担することで保護者の経済的負担の軽減を図った。

私立幼稚園（5園） 2,104,300円

公立幼稚園（2園） 425,645円

2 学校給食用食材費負担軽減事業

学校給食用食材費負担軽減事業（款）11. 教育費（項）6. 保健体育費（目）3. 学校給食費

・・・ 支出額 105,718,887円

物価高騰等の影響により食材価格が高騰する中で、学校給食用食材費の一部を市が支援をすることにより、給食費への価格転嫁を防ぎ、保護者の経済的負担を軽減するとともに、給食の質の低下を防止した。

小学校（22校） 66,606,775円

中学校（10校） 39,112,112円

学 校 施 設 整 備 課

○ 整備統合推進関係

1 小中学校適正規模化・適正配置推進事業

学校の小規模化による課題を解消し、本市の子どもたちが確かな学力を身に付け、豊かな人間性と健やかな体の育成といった「生きる力」を育むことができる、より望ましい教育環境の構築と、教育の質を充実させるために策定した伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画の推進を図った。

(1) 第1期の統合について

第1期の統合に向けて、対象校の関係者を対象に学校統合に関する説明会等を次のとおり開催し、統合準備会の設置に向けた取組みを進めた。

【豊浜東小学校、豊浜西小学校、北浜小学校、東大淀小学校】

時 期	内 容
令和7年7月 ～12月	学校統合説明会（計16回 延べ113人参加） 対象：小学校、PTA・まち協・自治会の役員
令和8年2月 ～3月	学校統合意見交換会（計6回 延べ82人参加） 対象：PTA、未就学児保護者、まち協・自治会の役員

【早修小学校、中島小学校、佐八小学校、上野小学校(複式学級の継続が見込まれるため)】

時 期	内 容
令和7年7月 ～12月	学校統合説明会（計14回 延べ72人参加） 対象：小学校、PTA・まち協・自治会の役員

(2) 伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画の見直しについて

基本計画の見直しに向けて、伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画策定委員会を設置し、令和8年2月17日に第1回の策定委員会を開催した。

2 小俣小学校給食室整備事業

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 3. 小学校建設費

施設の老朽化に伴い、新たに給食室を整備するため、次の業務等を実施した。

【委託関係】

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
小俣町元町 地 内	(注1) 小俣小学校給食棟 増築工事設計業務 委託	設計業務一式	円 17,526,300	7. 7. 1	8. 2. 16

小俣町元町地内	(注2) 小俣小学校給食棟 整備に伴う地質調 査業務委託	機械ボーリング 20m 原位置試験一式	円 3,851,100	7. 7. 8	7.10. 3
計	2件	—	21,377,400	—	—

(注1) 営繕課施行

(注2) 基盤整備課施行

3 明野小学校給食室整備事業

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 3. 小学校建設費

児童数の増加及び施設の老朽化に伴い、新たに給食室を整備するため、次の業務等を実施した。

【委託関係】

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
小俣町明野地内ほか	(注) 明野小学校給食棟 増築工事設計単価 見直し業務委託	設計単価見直し業 務一式	円 715,000	8. 2.16	8. 3.27

(注) 営繕課施行

4 中学校長寿命化改修事業

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 1. 中学校管理費

老朽化した屋内運動場の安全性と機能性を向上させることを目的とした改修工事を実施するため、次の業務を実施した。

【委託関係】

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
神田久志本町地内	(注) 倉田山中学校屋内 運動場改修工事設 計業務委託	設計業務一式	円 8,977,100	7. 7. 1	8. 1.30
中 村 町地内	(注) 五十鈴中学校屋内 運動場改修工事設 計業務委託	設計業務一式	9,350,000	7. 7. 1	8. 1.30
一之木5丁目地内	(注) 厚生中学校屋内運 動場改修工事設計 単価見直し業務委 託	設計単価見直し業 務一式	352,000	8. 2.16	8. 3.27
計	3件	—	18,679,100	—	—

(注) 営繕課施行

5 小中学校空調設備整備事業

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 1. 小学校管理費ほか

夏季の暑熱環境による熱中症リスクを軽減するため、屋内運動場への空調機設置及び老朽化に伴う空調機更新に係る、次の業務を実施した。

【委託関係】

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
伊勢市地内	(注1) 伊勢市立小学校 (21校) 屋内運動 場空調設備設置に 伴う電気設備改修 工事設計業務委託	設計業務一式	円 0 【契約額】 15,398,900 [令和7年度] 0 [令和8年度] 15,398,900	8. 2. 10	8. 5. 25
小俣町元町 地内ほか	(注2) 小俣小学校ほか 1校空調換気設備 改修工事設計業務 委託	設計業務一式	5,610,000 【契約額】 18,700,000 [令和7年度] 5,610,000 [令和8年度] 13,090,000	8. 2. 24	8. 9. 18
伊勢市地内	(注1) 伊勢市立中学校 (7校) 屋内運動場 空調設備設置工事 設計業務委託	設計業務一式	0 【契約額】 11,000,000 [令和7年度] 0 [令和8年度] 11,000,000	8. 3. 3	8. 5. 29
計	3件	—	5,610,000	—	—

(注1) 営繕課施行、令和8年度へ繰越

(注2) 営繕課施行、令和8年度へ一部繰越

※合計は、各行の最上段を合算

○ 維持管理関係

1 小学校管理・整備事業

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 1. 小学校管理費

小学校施設の維持管理に必要な自動火災報知機、エレベーター、遊具等の保守点検業務、受水槽及び高置水槽等の清掃業務、樹木の剪定業務のほか、施設の安全面、衛生面の機能充実及び施設機能の維持等の整備のため、次の工事等を実施した。

【工事関係】

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
船江2丁目 地 内	有緝小学校階段床 改修工事	床改修一式	円 1,268,300	7. 6.23	7. 8.22
一 志 町 地 内	(注1) 厚生小学校バスケットボールゴール 改修工事	建築改修一式	4,180,000	7. 6.24	7. 9. 5
上 野 町 地 内	(注1) 上野小学校給食室 改修工事	建築改修一式	3,264,800	7. 7. 1	7. 8.29
黒 瀬 町 地 内	(注2) 浜郷小学校グラウンド改修工事	アスファルト舗装 98㎡ 縁石 128m 間詰コンクリート 2㎡	2,570,700	7. 7.29	7.10. 3
小俣町元町 地 内	(注1) 小俣小学校校舎棟 コンセント増設工事	電灯分電盤及びコ ンセント増設一式	1,980,000	7. 8.13	7. 9. 1
常磐3丁目 地 内	(注1) 早修小学校受電設 備改修工事	受電設備改修一式	2,801,700	7.10.14	8. 1.19
船江2丁目 地 内	(注1) 有緝小学校放送設 備更新工事	放送設備更新一式	4,022,700	7.10.14	8. 1. 8
黒 瀬 町 地 内	(注1) 浜郷小学校放送設 備更新工事	放送設備更新一式	3,325,300	7.10.14	8. 1. 8
久世戸町 地 内	(注1) 修道小学校トイレ 改修工事	トイレ改修一式	3,921,500	7.12. 9	8. 2. 6
東大淀町 地 内	(注1) 東大淀小学校浄化 槽更新工事	浄化槽更新一式 排水設備工事一式	17,226,000	7.12. 9	8. 3.18
常磐3丁目 地 内 ほか	(注1) 早修小学校ほか5 校防犯カメラ設置 工事	防犯カメラ設置一 式	1,870,000	7.12.23	8. 3. 6
二俣1丁目 地 内 ほか	(注1) 中島小学校ほか4 校防犯カメラ設置 工事	防犯カメラ設置一 式	1,747,900	7.12.23	8. 3. 6

宇治浦田2丁目 地内ほか	(注1) 進修小学校ほか4 校防犯カメラ設置 工事	防犯カメラ設置一 式	円 2,189,000	7.12.23	8.3.6
上地町 地内ほか	(注1) 城田小学校ほか3 校防犯カメラ設置 工事	防犯カメラ設置一 式	2,813,800	7.12.23	8.3.6
西豊浜町 地内	豊浜西小学校揚水 ポンプ修繕工事	揚水ポンプ修繕一 式	1,276,000	8.1.6	8.3.16
東豊浜町 地内	豊浜東小学校揚水 ポンプ修繕工事	揚水ポンプ修繕一 式	1,980,000	8.2.2	8.3.18
旭町 地内	宮山小学校給食室 給湯管修繕工事	給湯管修繕一式	1,650,000	8.2.5	8.3.26
計	17件	—	58,087,700	—	—

(注1) 営繕課施行

(注2) 基盤整備課施行

・上記掲載のほか100万円未満の修繕及び工事を305件 40,325,308円実施した。

2 中学校管理・整備事業

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 1. 中学校管理費

中学校施設の維持管理に必要な自動火災報知機、エレベーター、体育用具等の保守点検業務、受水槽及び高置水槽の清掃業務、樹木の剪定業務のほか、施設の安全面、衛生面の機能充実及び施設機能の維持等の整備のため、次の工事等を実施した。

【工事関係】

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
一之木5丁目 地内	(注) 厚生中学校ガス配 管改修工事	ガス配管改修一式	円 1,892,000	7.4.30	7.6.13
磯町 地内	(注) 御園中学校ポーチ 軒天塗装改修工事	塗装改修一式	3,217,500	7.6.24	7.9.5
一之木5丁目 地内	厚生中学校分電盤 改修工事	分電盤改修一式	1,272,700	7.8.4	7.9.1
一之木5丁目 地内	厚生中学校多目的 ホール空調機修繕 工事	空調機修繕一式	1,281,500	7.8.7	7.9.19
神田久志本町 地内	倉田山中学校火災 受信機修繕工事	火災受信機修繕一 式	1,122,000	7.9.16	7.10.30

神田久志本町 地 内 ほ か	(注) 倉田山中学校ほか 3校防犯カメラ設 置工事	防犯カメラ設置一 式	円 2,532,200	7.12.23	8. 3. 6
計	6件	—	11,317,900	—	—

(注) 営繕課施行

・上記掲載のほか100万円未満の修繕及び工事を109件 18,561,302円実施した。

3 幼稚園管理事業

(款) 11. 教育費 (項) 4. 幼稚園費 (目) 1. 幼稚園費

幼稚園施設の維持管理に必要な自動火災報知機、遊具等の保守点検業務、樹木の剪定業務のほか、施設の安全面、衛生面の機能充実及び施設機能の維持等の整備のため、次の工事等を実施した。

【工事関係】

- ・100万円以上の修繕及び工事該当なし
- ・100万円未満の修繕及び工事を9件 2,080,580円実施した。

学 校 教 育 課

○ 学校教育関係

Ⅰ 児童生徒数及び学級数（令和7年5月1日現在）

児童生徒数においては、小学校で5,378人(前年比－100人)、中学校で2,926人(前年比－65人)、学級数においては、小学校で279学級(前年比－1学級)、中学校で112学級(前年比－5学級)であった。

小学校児童数の最多は明野小の781人で、最少は佐八小の40人であり、学級数の最多は明野小の32学級、最少は佐八小、豊浜東小の5学級であった。また、12学級以上18学級以下の学校は9校、19学級以上は2校、11学級以下は11校であった。

中学校生徒数の最多は小俣中の680人で、最少は城田中の140人であり、学級数の最多は小俣中の26学級で最少は城田中の6学級であった。また、12学級以上18学級以下の学校は3校、19学級以上は1校、11学級以下は6校であった。

(1) 小学校

令和7年5月1日現在

区分 学校名	児 童 数	学 級 数			区分 学校名	児 童 数	学 級 数		
		通 常	特別支援	計			通 常	特別支援	計
進 修	人 161	学級 6	学級 1	学級 7	豊浜東	人 46	学級 4	学級 1	学級 5
修 道	312	12	3	15	豊浜西	117	6	2	8
有 緝	448	15	3	18	北 浜	83	6	1	7
早 修	114	6	2	8	東大淀	65	6	1	7
中 島	216	10	3	13	城 田	265	11	3	14
明 倫	283	12	3	15	上 野	76	6	1	7
厚 生	284	12	2	14	小 俣	656	22	9	31
佐 八	40	4	1	5	明 野	781	26	6	32
宮 山	250	11	2	13	御 藺	332	12	5	17
浜 郷	222	9	2	11	二見浦	288	10	3	13
四 郷	112	6	2	8	みなと	227	9	2	11
計					計	5,378	221	58	279

(2) 中学校

令和7年5月1日現在

区分 学校名	生徒数	学 級 数		
		通 常	特別支援	計
倉田山	人 384	学級 12	学級 1	学級 13
厚 生	373	12	3	15
港	189	7	1	8
城 田	140	5	1	6

五十鈴	人 317	学級 10	学級 2	学級 12
二見	193	6	1	7
小俣	680	21	5	26
御 蔭	186	6	1	7
伊勢宮川	270	9	2	11
桜 浜	194	6	1	7
計	2,926	94	18	112

2 学校の指定

「伊勢市立の小学校及び中学校の就学すべき学校の指定に関する規則」に基づき、入学する小学校、中学校の就学校を指定した。また、就学指定校変更申請があった際は、許可基準に基づき許可を行った。

(1) 就学指定校変更許可基準

地理的条件・留守家庭・住居建築中・転居予定・途中転居・健康上の理由・教育上の配慮・その他の事情

(2) 児童・生徒の異動

令和8年3月31日現在

区 分	令和7年4月 入 学 者	令和8年3月 卒 業 者	途中転入等	途中転出等
			※伊勢市内の転校を含む。	
小 学 校	人 888	人 888	人 70	人 64
中 学 校	946	968	15	14
計	1,834	1,856	85	78

3 教職員等（令和7年5月1日現在）

(1) 教職員数

教員（基準＋加配）は小学校318人、中学校は175人。小学校にのべ63人で571時間分、中学校にのべ34人で274時間分の非常勤講師が県から配置され、少人数指導などに活用した。

(2) スクールカウンセラー

スクールカウンセラーは、県から全小中学校に配置され、あわせて市からも小俣小、明野小、小俣中、厚生中に派遣し、児童生徒・教職員及び保護者のカウンセリングを行った。

4 学校行事の概要（令和7年度）

儀式的行事、学芸的行事、健康安全・体育的行事、遠足・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事などを行い、学校生活に秩序と変化を与え、集団への所属感を深め、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行った。

実施月日	行 事	実施月日	行 事
4/7, 8, 9, 10	小中学校始業式・入学式	10月	中学校体育祭 1校
4/10	幼稚園入園式	9月～11月	小中学校社会見学

実施月日	行 事	実施月日	行 事
4月～5月	中学校修学旅行 10校 (2泊3日)	10月～11月	小学校修学旅行 20校 (1泊2日)
4月～5月	小中学校遠足・社会見学	10月～12月	小中学校文化祭・作品展
5月	小学校運動会 11校	12/6, 7	教育美術展
5月～6月	中学校体育祭 9校	12/23	2学期終業式
5/19, 20	小学校修学旅行 1校 (1泊2日)	1/7, 8	3学期始業式
7/18, 22	1学期終業式	3/6	中学校卒業式
8/27, 28, 29, 9/1	2学期始業式	3/18	幼稚園卒園式
9/6, 7	科学創作展	3/19	小学校卒業式
10月～11月	小学校運動会（体育発表会 等を含む） 11校	3/19, 25	小中学校修了式

5 主な事業

（1）児童生徒教育活動支援事業（款）11. 教育費（項）1. 教育総務費（目）3. 教育振興費

ア 豊かな心を育む体験交流活動推進事業

園児児童生徒が自然を大切にする心や他を思いやる優しさといった豊かな心を育むことを目的とし、幼稚園・小中学校で行われる自然、環境、文化やボランティアについての体験や交流、創意工夫を生かした教育活動を支援した。

イ いのちの学習

全中学校において、思春期保健相談士や助産師等による「いのち」をテーマとした講話を実施した。命の尊さについて学ぶことで、生徒一人ひとりの自己肯定感を高めるとともに、自分自身を見つめ直す機会とした。

ウ 未来へチャレンジ！職場体験推進事業

キャリア教育の一環として、働くことの意義・目的を学び、職業観・勤労観を育てるために、中学2年生を対象として3日間の職場体験学習を実施した。令和7年度は、全10校で予定どおり実施することができた。地元企業団体で作るビジネスパーク伊勢のメンバーを招き、対面にて講演を聞いたり体験をしたりすることで、生徒たちは地元企業の仕事について考えることができた。また、講師を招聘またはオンラインでつなぎ、仕事の体験談を聞く機会を設けた。さらに、生徒が職業インタビューをして個人新聞を作り冊子の作成をする取組など、各校で工夫し実施をした。

エ 各種行事開催事業

科学創作展や教育美術展の開催、伊勢市民芸能祭への参加など、児童生徒が音楽や美術・科学等の成果を発揮したり鑑賞したりする機会を設けた。（伊勢まつりは雨天のため不参加）

(2) 学校教育支援事業(款) 11. 教育費(項) 1. 教育総務費(目) 3. 教育振興費

ア 教育支援ボランティア、学校安全ボランティア

地域人材や学生を教育支援ボランティアとして登録し、児童生徒の学習支援や日本語の指導、部活動、図書館運営などの支援を行い、教育活動の充実を図った。また、地域人材等を学校安全ボランティアとして登録し、通学路等の見守りを行い、子どもたちの安全確保を図った。

配置及び活動状況は次のとおり。

- ・教育支援、学校安全ボランティア ※登録者数(令和8年3月31日現在)

教育支援 160人

学校安全 495人(小学校22校:各校区で随時活動)

- ・教育支援ボランティア活動数(令和8年3月31日現在。有償、無償すべて含む。)

活動人数 153人(学習支援108人、部活動支援20人、学校図書館支援3人、日本語支援3人、保育活動補助15人、養護教諭の支援1人、心の支援3人)

活動回数 4,289回(令和7年4月~令和8年3月)

イ 学校評議員

校長は、学校運営に關しての助言や地域の情報を学校評議員から得て、学校運営に生かし、特色ある学校づくりや地域や社会に開かれた学校づくりに努めた。(学校評議員は、有識者・保護者・地域住民から校長が推薦し教育委員会から委嘱する。)

(令和8年3月31日現在)

区 分	保護者代表 (PTA役員含む。)	地 域 代 表 (学校所在地近辺の自治会長等)	有識者等	計
小学校	12人	59人	18人	89人

(3) 学校生活支援事業(款) 11. 教育費(項) 1. 教育総務費(目) 3. 教育振興費

ア 学習支援員、看護師

特別支援教育の充実のため、市雇用で特別支援学級や通常学級に在籍する児童生徒の生活面や学習面の支援を行う学習支援員や医療的ケアを行う看護師を配置し、個に応じたきめ細かな教育体制づくりを推進した。

配置及び活動状況は次のとおり。

- ・学習支援員・看護師(令和8年3月31日現在)

小学校 21校 82人(うち看護師2人)

中学校 8校 17人

イ 授業のユニバーサルデザイン化推進事業

すべての児童生徒にとっての「分かる、できる」を保障する授業づくりを小学校2校中学校1校(修道小学校、豊浜東小学校、御園中学校)で実施し、授業を市内全小中学校に

公開し、研修の充実を図った。

(4) 通学安全対策事業(款) II. 教育費(項) I. 教育総務費(目) 3. 教育振興費

児童の通学上の安全確保を図るため、遠距離その他の事由により徒歩による通学が困難な児童について、その通学に要する交通費を支給した。

対象校 中島小学校(辻久留町・辻久留3丁目・二俣町)

佐八小学校(津村町・大倉町)

同事業については、教育総務課が別途執行している。

(5) 学力向上推進事業(款) II. 教育費(項) I. 教育総務費(目) 3. 教育振興費

目標基準準拠検査(CRT)を市立全小中学校で実施し、検査結果から児童生徒の学習到達度を明らかにし指導に生かすとともに、学力向上推進に係る実践的研究を展開した。

目標基準準拠検査は、小学校2～6年生を対象に国語・算数、中学校1年生対象に国語・数学、中学校2年生対象に国語・数学・英語を実施し、結果を分析し、指導に生かした。

また、小学校1年生については、伊勢市教育委員会作成の学力調査(国語・算数)を実施し、結果を分析することで授業改善及び個に応じたきめ細かい指導に生かすことができた。

さらに、「読解力向上プロジェクト」については小学校5校をモデル校に指定し、「よむYOMUワークシート」を活用した読解力向上を図る実践に取り組んだ。

「読解力向上プロジェクト」モデル校：修道小・上野小・豊浜西小・城田小・明野小

(6) 体育・文化活動支援事業(款) II. 教育費(項) I. 教育総務費(目) 3. 教育振興費

ア 体育・部活動

小学校においては、児童の体力向上、運動に親しむ取組が今後より一層図られるよう、小学校教員を対象とした体育指導講習会を実施した。中学校においては、各種中学校体育大会等を実施した。また、学校部活動の活性化や競技スポーツを目指す生徒の育成を図るため、全国大会等への選手派遣費を負担した。

中学校体育連盟事業

開催日	大会名
7.6.7	伊勢市中学校陸上競技対抗選手権大会
7.6.28～7.13	三重県中学校総合体育大会伊勢度会地区予選会
7.9.27、28	三重県中学校陸上競技大会伊勢度会地区予選会
7.9.27～10.5	伊勢度会中学校秋季体育大会
7.11.1	伊勢度会中学校駅伝競走大会

イ 部活動指導員

市立中学校に部活動指導員を配置し、部活動指導体制の充実を推進するとともに、部活動を担当する教員の負担軽減・支援を行った。

令和7年度実績

配 置 校	部 活 名	配置人数	配置期間
城田中学校	バレーボール部	1人	7. 4. 1 ~ 8. 3.31
城田中学校	音楽部	1	7. 4. 1 ~ 8. 3.31
桜浜中学校	J R C 部	1	7. 4. 1 ~ 8. 3.31
桜浜中学校	陸上部	1	7. 4. 1 ~ 8. 3.31
五十鈴中学校	合唱部	1	7. 4. 1 ~ 8. 3.31
厚生中学校	ソフトテニス部	1	7. 4. 1 ~ 8. 3.31
伊勢宮川中学校	美術部	1	7. 4. 1 ~ 8. 3.31
港中学校	バスケットボール部	1	7. 4. 1 ~ 8. 3.31
二見中学校	吹奏楽部	1	7. 4. 1 ~ 8. 3.31
小俣中学校	バドミントン部	1	7. 4. 1 ~ 8. 3.31
御園中学校	軟式野球部	1	7. 4. 1 ~ 8. 3.31
御園中学校	ソフトテニス部	1	7. 4. 1 ~ 8. 3.31
倉田山中学校	吹奏楽部	1	7. 5. 1 ~ 8. 3.31

ウ 部活動あり方準備委員会（令和7年11月部活動あり方推進委員会に名称変更）

「伊勢市部活動あり方準備委員会」を4回開催し、部活動地域移行（令和7年12月より地域展開に名称変更）において協議を行った。（うち2回はアドバイザーを招聘した。）

また、新たな地域クラブ活動のあり方を検証するために、スポーツ課と連携し、次の団体で実証事業を行った。

- ・ いすずウキウキクラブ（総合型地域スポーツクラブ）
- ・ 伊勢度会陸上競技協会（伊勢市スポーツ協会）
- ・ 伊勢市バレーボール協会（伊勢市スポーツ協会）
- ・ 皇學館大学と連携しての合同体験教室（中学生対象のもの）陸上競技、軟式野球、駅伝競走を行った。

（7）学校水泳民間プール施設活用事業

（款）11. 教育費（項）1. 教育総務費（目）3. 教育振興費

学校水泳における民間プール施設の効果的かつ経済的な活用を行うため、令和7年度は、15校の水泳の授業を委託した。

実施校	委託業者	人数	実施期間
早修小学校	ベスパスポーツクラブ	113人	7. 6. 4 ~ 7. 6.24
中島小学校		216	7. 9. 2 ~ 7. 9.26
佐八小学校		40	7. 7. 1 ~ 7. 7.11
豊浜東小学校		46	7. 6. 5 ~ 7. 6.26

豊浜西小学校	ベスパスポーツクラブ	人 116	7. 9. 4 ~ 7. 9.25
北浜小学校		83	7. 6. 5 ~ 7. 6.26
東大淀小学校		65	7. 9. 5 ~ 7. 9.26
城田小学校		264	7. 6. 6 ~ 7. 7.11
進修小学校	伊勢スイミングスクール	163	7. 5. 1 ~ 7. 5.21
明倫小学校		282	7. 5.27 ~ 7. 6.24
浜郷小学校		222	7. 9. 3 ~ 7.10. 7
四郷小学校		112	7. 6.26 ~ 7. 7.11
二見浦小学校		287	7.10. 9 ~ 7.11.13
修道小学校	アクトス	307	7. 5.22 ~ 7. 7.10
有緝小学校		451	7. 9. 8 ~ 7.10. 9

(8) 奨学金育英事業(款) 11. 教育費(項) 1. 教育総務費(目) 3. 教育振興費

経済的理由により修学困難な大学(短期大学を含む)・高等専門学校・高等学校・中等教育学校(後期課程)に在学する学生、生徒に対して奨学金を支給し、奨学生の学費の負担軽減を図るとともに、有用な人材の育成に努めた。

(伊勢市奨学金)

種 別		区 分	応募者数	支給者数	支給額(月額)
高校等 (高専1年生～3年生含む)	国公立	20人	20人	5,500円	
	私 立	20	20	6,000	
	計	40	40		
大学等 (高専4年生～5年生含む)	国公立(自 宅)	7	7	8,000	
	国公立(自宅外)	13	13	10,000	
	私 立(自 宅)	10	10	10,000	
	私 立(自宅外)	19	19	12,000	
	計	49	49		
計		89	89		

(9) 非核・平和推進事業(款) 11. 教育費(項) 1. 教育総務費(目) 3. 教育振興費

市立各中学校代表20人、教諭2人、指導主事3人が8月6日に広島市で開催された平和記念式典に参列し、戦争の悲惨さや核兵器廃絶の取組の重要性、平和の尊さを体感することができた。参加生徒は「中学生ピースメッセンジャー」として、現地で学んだことや感じたことを自校の生徒に還流し平和学習を深めるとともに、非核・平和空襲展の場で参加報告会も行った。

さらに、感想文集の発行、広報やZTV放送による発信、伊勢市ホームページへの生徒感想文の掲載、市内5か所におけるパネル展示も行い、広く市民の方々に平和の尊さを伝えることができた。

また、毎年の継続した取組として、各中学校の全校生徒が恒久平和を祈願して作製した千羽鶴を、参加生徒が広島平和記念公園内の「原爆の子の像」へ献納する活動も行った。

(10) いじめ防止対策推進事業(款) 11. 教育費(項) 1. 教育総務費(目) 3. 教育振興費

いじめ防止等に資する対策を総合的かつ効果的に進めるため、各学校に「伊勢市いじめ防止基本方針」の周知を図った。

また、伊勢市のいじめ問題対策を充実させていくこと、市内の関係機関団体の連携を図っていくこと、重大事態への対処の体制を充実させていくために、各校に「伊勢市いじめ防止対策推進法施行条例」の周知を図り、「伊勢市いじめ問題対策連絡協議会」「伊勢市いじめ問題対策委員会」を設置して、いじめの未然防止と早期発見、いじめが起きた際の対処を迅速に行えるようにした。

・いじめ問題対策連絡協議会 2回開催

(第1回:令和7年6月12日、第2回:令和8年1月15日)

・いじめ問題対策委員会 2回開催

(第1回:令和7年9月9日、第2回:令和8年2月4日)

(11) エンジョイイングリッシュ事業

(款) 11. 教育費(項) 1. 教育総務費(目) 3. 教育振興費

ア 小学生英語体験

小学校において、学習指導要領で求められている外国語によるコミュニケーション能力の素地や基礎を養うために、ALT(外国語指導助手)との交流を楽しむことができる活動を夏季休業中に行った。

場所 あさま児童館、黒瀬児童センター、明野児童館、小俣児童館、御園こども広場

イ 中学生英語スピーチコンテスト

日々の授業における成果を発表する場の1つとしてスピーチコンテストをハートプラザみそのにて開催をした。(令和7年8月8日 16人参加)

ウ 英語検定チャレンジ事業

英語学習への関心意欲を高める機会のひとつとして、英語検定にチャレンジする児童生徒を増やしていくために、英語検定3級の検定料の補助を行った。

令和7年度英語検定チャレンジ事業

第1回	第2回	第3回	計
人	人	人	人
86	79	63	228

エ わくわくときどきキッズイングリッシュ

就学前教育保育施設にALTを派遣した。英語の歌やゲームを通して、園児が異なる文化に親しむことができた。

(12) ALT活動事業(款) 11. 教育費(項) 1. 教育総務費(目) 3. 教育振興費

英語を母語とする、またはそれに等しい環境で英語を身に付けた人材を雇用し、小中学校

の担当教員が行う授業の補助を行った。授業における会話等をALTと練習することで、児童生徒が生きた英語に触れることができた。

また、休み時間や放課後のふれあいを通じて英語力やコミュニケーション能力の育成に努めた。地域との交流として、市立図書館での読み聞かせも定期的に行うなど、伊勢市の国際理解教育の促進に努めた。

- (13) 学校教材整備経費 (款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 2. 小学校教育振興費ほか
各校の実態に応じた教材の整備を進め、教育環境の充実に努めた。また、理科教育のために理科教育振興法に基づく理科教材に対する備品を整備し、学習環境の充実に努めた。

区 分	教 材 整 備 経 費		計
	一般教材備品	理科教育振興法に基づく理科教材備品	
小学校	円 9,450,878	円 245,520	円 9,696,398
中学校	5,841,265	1,440,560	7,281,825
計	15,292,143	1,686,080	16,978,223

- (14) 要保護及び準要保護児童生徒援助事業

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 2. 小学校教育振興費ほか

経済的理由により就学困難な児童生徒がいる家庭に学用品費、修学旅行費、学校給食費等を助成する就学援助制度を実施した。なお、新入学児童生徒学用品費について、平成29年度新入学予定児童生徒から、入学前の3月に支給している。

区分	小学校			中学校		
保護別	費 目	支給人数 (人)	支給額(円)	費 目	支給人数 (人)	支給額(円)
要保護	修学旅行費	1	30,650	修学旅行費	1	73,236
	医 療 費	0	0	医 療 費	0	0
	小 計		30,650	小 計		73,236
準要保護	修学旅行費	136	4,322,974	修学旅行費	139	9,937,211
	学用品費等	803	12,684,050	学用品費等	458	12,285,620
	医 療 費	0	0	医 療 費	0	0
	給 食 費	802	35,821,921	給 食 費	456	21,643,431
	令和8年度 新入学学用品費 (入学前支給)	88	5,021,280	令和8年度 新入学学用品費 (入学前支給)	143	9,009,000
	小 計		57,850,225	小 計		52,875,262
	合 計		57,880,875	合 計		52,948,498

○ 人権教育関係

Ⅰ 学校人権教育

すべての学校（園）で人権教育の課題を明確にし、指導体制を確立して、その推進を図った。

また、子どもたち一人ひとりを大切にする教育を充実させるとともに、指導内容を研究し、人権感覚の醸成を図った。

（１）人権教育推進一般経費（款）Ⅱ．教育費（項）Ⅰ．教育総務費（目）５．人権教育費

ア 人権教育担当者会議

小中学校の人権教育校区連絡会担当者や人権フォーラム担当者を対象に、人権課題についての認識を深め、それに基づいた実践力や指導力など人権教育を推進するために必要な資質の向上をめざした研修会を実施した。

	開催月日	テーマ	内 容
1回	7.11.11	人権フォーラムの開催に向けて	・各校でのフォーラム事前事後指導について ・個別の人権課題の学習内容について
2回	8. 2.10	・中学校区小中連携 ・1年間のまとめ	・人権が尊重される学校づくりを推進する主体者として

イ 人権教育の実践研究委託

人権教育の調査・研究や研修会の開催などの事業を伊勢市人権・同和教育研究会へ委託し、人権教育の推進を図った。

（２）人権教育子ども輝きプラン総合推進事業

（款）Ⅱ．教育費（項）Ⅰ．教育総務費（目）５．人権教育費

ア 中学校区人権教育推進事業

研究指定中学校区において、人権教育の指導改善・充実についての研究に取り組むとともに、幼稚園・小学校・中学校・高等学校間で子ども理解と授業交流に努めた。令和７年度は、港・五十鈴・小俣・御園・桜浜中学校区を研究校区に指定し実施した。

イ 伊勢市子ども人権フォーラム21

小学生フォーラムでは112人、中学生フォーラムでは91人の児童生徒が参加した。両フォーラムとも、それぞれ2人の発表者の作文をもとに、参加した児童生徒が、学校での人権学習や生活の場で学んだことをもとに体験等を発表し合い、互いの思いや願いを受け止め合いながら人権課題に対する認識を深めた。

フォーラムでの学びは、各小中学校における校内人権フォーラム等の場で還元され、人権学習の推進と充実に繋がった。

ウ 人権作文集「人権の芽」の発行

小中学校で人権作文を募集し、選出した優秀作品による文集を発行することで、児童生徒が人権についてあらためて考える機会を設けた。小中学校合わせて318件の応募があり、54件を選出し、文集にまとめた。作文集は960冊作成し、各小中学校等へ配布した。

○ 教育集会所関係

Ⅰ 教育集会所人権教育事業（款）Ⅱ. 教育費（項）Ⅰ. 教育総務費（目）6. 教育集会所費

（Ⅰ）教育集会所管理運営事業

教育集会所に人権教育指導員を配置し、集会所活動に従事するとともに、地域での人権教育の推進に努めた。

（Ⅱ）教育集会所活動（教育集会所人権教育事業）

人権が尊重されるまちづくりをめざし、文化教養を高め、地域交流を図るために、子ども人権スクールを開設した。

集会所と活動区分		回 数	延べ参加人員	活 動 内 容
朝熊	園との交流	16回	550人	人権教育の推進を図るとともに、人権課題や人間関係づくりについて子どもたちがわかりやすく学べるよう、講座を実施した。
	小学生学習会	39	224	
	「輝きねっと」人権学習	4	150	
黒瀬	園との交流	1	14	
	小学生学習会	21	217	
	「はま☆スタ」人権学習	10	355	

○ 保健関係

Ⅰ 児童生徒保健管理事業（款）Ⅱ. 教育費（項）6. 保健体育費（目）2. 学校保健費

（Ⅰ）健康診断

幼児、児童、生徒及び職員の健康管理のため、学校保健安全法に基づく各種検診を次のとおり実施し、検診結果を文書により保護者と職員に通知した。

ア 結核検診（児童・生徒）

区 分	検査人員	精密検査該当者
小 学 校	5,379人	5人
中 学 校	2,927	1
計	8,306	6

イ 尿検査（幼児・児童・生徒）

区 分	第1次検査				第2次検査			
	検査人員	陽性者内訳			検査人員	陽性者内訳		
		蛋白	糖	潜血		蛋白	糖	潜血
小 学 校	5,362人	27人	3人	47人	71人	2人	0人	7人
中 学 校	2,881	63	3	67	122	9	0	8
幼 稚 園	97	0	0	2	2	0	0	0

計	人 8,340	人 90	人 6	人 116	人 195	人 11	人 0	人 15
---	------------	---------	--------	----------	----------	---------	--------	---------

ウ 眼科検診（幼児・児童・生徒）

区 分	小学校	中学校	幼稚園	計
被 検 診 者 数	人 5,347	人 2,847	人 94	人 8,290
疾 病 ・ 異 常 者 数	147(2.75)	46(1.62)	1(1.06)	194(2.34)

※（ ）は有所見率（％）

エ 歯科検診（幼児・児童・生徒）

区 分	小学校	中学校	幼稚園	計
被 検 診 者 数	人 5,348	人 2,766	人 96	人 8,210
う 歯 な し の 者	3,443(64.38)	1,895(68.51)	85(88.54)	5,423(66.05)
う 歯 処 置 完 了 者	862(16.12)	409(14.79)	2(2.08)	1,273(15.51)
未処置う歯のある者	1,043(19.50)	462(16.70)	9(9.38)	1,514(18.44)

※（ ）は有所見率（％）

オ 耳鼻咽喉科検診（小学校１年生・４年生及び中学校１年生）

区 分	小学校	中学校	計
被 検 診 者 数	人 1,798	人 934	人 2,732
耳 疾 患	139(7.73)	50(5.35)	189(6.92)
鼻・副鼻腔疾患	335(18.63)	175(18.74)	510(18.67)
口腔咽喉頭疾患	62(3.45)	16(1.71)	78(2.86)
計	536(29.81)	241(25.80)	777(28.44)

※（ ）は有所見率（％）

カ 心臓検診（小学校１年生・４年生及び中学校１年生）

対 象 学 年	心電図検査	要 精 検 査	所 見 率
	人	人	％
小 学 校	1,799	101	5.61
中 学 校	940	59	6.28
計	2,739	160	5.84

（２）日本スポーツ振興センター災害共済給付制度

学校の管理下における児童生徒等の災害に関し、日本スポーツ振興センター災害共済給付制度に加入し、治療費や見舞金の給付を行った。

区 分	加入人員	医療費給付件数	給 付 率	給付金額	発生件数
	人	件	％	円	件
小 学 校	5,379	440	8.2	2,918,727	279
中 学 校	2,910	748	25.7	6,151,651	362
幼 稚 園	98	1	1.0	5,036	1
計	8,387	1,189	14.2	9,075,414	642

※主な傷病名 手足の挫傷・打撲・骨折等

(3) 女子児童生徒寄り添い支援事業

家庭の事情で生理用品の購入が困難な状況等でも安心して学校生活が送れるよう、全小中学校の女子トイレの個室に生理用品を設置した。

2 学校歯科保健衛生指導事業 (款) 11. 教育費(項) 6. 保健体育費(目) 2. 学校保健費

児童が口の健康についての正しい知識を持ち、適切な歯科保健行動を実践する力をつけるため、学校歯科医、歯科衛生士の協力のもと小学校1年生または、2年生にむし歯予防、5年生に歯肉炎予防を中心とした歯みがき指導を実施した。

また、歯磨き指導に加え子どもたちのむし歯予防対策の充実を図るため、フッ化物洗口を令和7年度は小学校12校で実施した。

○ 食育推進関係 (款) 11. 教育費(項) 1. 教育総務費(目) 3. 教育振興費

「第4次伊勢市食育推進計画」(令和5年度～令和9年度)に基づき、子どもたちが生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎を作り、将来にわたって健康に生活していけるよう、家庭、地域との連携を図りつつ食育を推進した。

第4次伊勢市食育推進計画の基本方針

- ① ライフステージに応じた食育の推進
- ② 健康寿命の延伸を目指した食育の推進
- ③ 共食を通じた食育の推進
- ④ 地産地消の推進と伝統的食文化の継承
- ⑤ 食と環境の調和の促進

1 学校における食育の実施

伊勢市食育推進計画に基づき「全小中学校で、栄養教諭・臨時学校栄養職員の専門性を生かした食育の推進を図る」「各学校がこれまで行ってきた特色ある食に関する指導をさらに進め、食に関する指導の充実を図る」ために、それぞれにおいて、地域の人材を活用した食に関する指導、地域の食に関する文化や環境を生かした体験活動、地場産物を効果的に活用した指導等、子どもの実態や地域の特性を生かした取組等を実施した。

(1) 学校における食育推進体制整備事業

児童生徒が生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎を作り、将来にわたって健康に生活していけるよう、食事を楽しみ、栄養や食事のとり方について自ら判断し、実施していく「食に関する自己管理能力」や「望ましい食習慣」を身に付けることを目的に、以下のとおり実施した。

学 校 名	テーマ
宮山小学校	地域を知り、地域を誇れる児童の育成
城田小学校	家庭・地域ともに進める食教育

小俣中学校	学校・家庭・地域の連携による食育
-------	------------------

(2) いせっ子朝食メニューコンクール

自らの食生活に関心を持ち、望ましい食習慣を身に付けられるよう、三重県教育委員会主催の「みえの地物が一番！朝食メニューコンクール」を活用し、伊勢市の地場産物を使用した作品を対象にしたコンクールを併せて実施した。

2 食育担当者連絡協議会（4月、11月、2月）

栄養教諭、臨時学校栄養職員の専門性を生かした食に関する指導を一層進めるとともに、各学校における指導の充実を図るため、講演会、実践交流会等を実施した。

教 育 メ デ ィ ア 課

○ 研究関係

情報教育に関する今日的、将来的な課題について、学校現場と連携を図りながら、子どもたちの情報活用能力育成に資する研究を進めた。

Ⅰ ICT活用教育研究プロジェクト

研究協力校	研 究 課 題
進修小学校	ICT活用力向上に係る実践研究 国語科 「考え交流しあう授業を目指して」 ICTを効果的に活用し、「※知識構成型ジグソー法」を取り入れ、児童が主体的に学ぶことのできる授業づくりを探求した。

※知識構成型ジグソー法…児童生徒がグループに分かれて学び合う、協同学習の手法のひとつ

○ 研修関係

教職員研修講座等を開催し、教職員の資質向上を図った。

Ⅰ 教職員研修講座（情報教育関連）

開催日	内 容	受講者数 【※満足度】
7月25日（金） 14:00～16:00	「GIGAスクール構想について」	48人 【97.7%】
8月7日（木） 10:00～12:00	学習支援ソフト活用～基本的な操作方法～	8人 【100%】
8月7日（木） 14:00～16:30	学習支援ソフト活用～協働的な授業づくり～	29人 【100%】
8月18日（月） 10:00～12:00	プログラミング教育	7人 【100%】
8月19日（火） 10:00～12:00 14:00～16:00	iOSアプリを活用した授業実践について	19人 【100%】
8月25日（月） 10:00～12:00	ICTを効果的に活用した授業づくり	43人 【97.7%】

※満足度…研修会後のアンケートで、満足及びやや満足と答えた人の割合

○ 情報教育関係

情報教育関係 （款）11. 教育費（項）1. 教育総務費（目）3. 教育研究所費

児童生徒の情報活用能力の育成、教育ICT環境の充実等を目的に、以下の事業を実施した。また、情報教育の推進にあたっては、伊勢市スマートシティ推進フェロー小出泰久氏の助言も受けながら事業を実施した。

1 GIGAスクール構想の推進

GIGAスクール構想開始5年目は、ネクストGIGA「GIGAスクール構想第2期」として、整備した1人1台タブレット端末を使うだけ・使わせるだけからステップアップし、主体的・対話的で深い学びを視点とした授業改善のさらなる促進を目指した。学習支援ソフトやドリル学習ソフト、デジタル教科書の活用促進のため、各校でICT活用力向上研修を実施したり、ICTスキルアップ研修講座を実施したりした。

ICTを活用した授業づくりの研究では、ICT活用教育研究プロジェクトとして進修小学校でジグソー法を用いた研究授業の発表会を実施することができた。

また、タブレット端末の持ち帰り学習や災害時等の子どもたちの学びの保障のために、インターネット環境がない家庭にモバイルWi-Fiルーターを貸し出した。

1人1台タブレット端末については、導入から5年を経過したことから、令和7年度は3学年分（小学校2学年、中学校1学年）の端末を更新し、令和6年度更新分と合わせて9学年中4学年分の端末更新が完了した。

2 学校への支援

プログラミング等の情報教育やICT活用に関して、各校に助言や支援を行った。また、児童生徒及び教職員の情報活用能力を高めるため、ICT支援員を派遣し、授業・校務でのICT活用の活性化を図った。

3 情報モラル教育

インターネットやコミュニケーションツールによるトラブルを防ぐため、これまでも、学校での授業や、職員を派遣しての研修講座等で情報モラル教育に取り組んできたが、小中学生のスマートフォン所持率の上昇に伴い、トラブルや犯罪に巻き込まれる事案が増加してきた。そこで、関係部署と連携し、警察等の専門機関の協力も得ながら、子どもたちがデジタル社会で安全かつ主体的に活躍できる力を育むことを目的に『「守る・育てる」 情報モラル安心プロジェクト』を立ち上げた。

○ 図書館運営事業 （款）11. 教育費（項）5. 社会教育費（目）5. 図書館費

1 図書整備経費

市立図書館における図書等資料の充実を目的に、利用者のニーズを踏まえた選書により図書等を整備した。また、蔵書の適正管理のために、図書類の保護や管理データ処理を行った。

購入数	図書	雑誌	視聴覚資料
	8,098 冊	2,935 冊	46 点

2 図書館運営事業

(1) 図書館協議会

図書館法第14条の規定に基づき、図書館運営等について協議した。

- ・委員数 14名
- ・会議 第1回 令和7年7月1日(火) 小俣公民館
第2回 令和7年11月14日(金) 小俣公民館
第3回 令和8年3月23日(月) 小俣総合支所

(2) 市立図書館の管理、運営

ア 指定管理制度の導入

民間の能力を活用し、効果的で効率的な施設管理運営を行うため、伊勢図書館は平成18年4月、小俣図書館は平成21年4月から、指定管理者制度を導入している。令和7年度においても、指定管理者により施設の管理運営及び各種行事を実施した。

- ・指定管理者名 株式会社図書館流通センター
- ・指定期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)

イ 図書館利用登録者数(令和8年3月31日現在)

市内55,199件、市外11,435件、計66,634件

※無効利用者削除により、令和6年度の利用登録者数から減少

ウ 貸出人数、貸出冊数、蔵書数

区分	貸出人数	貸出冊数	蔵書数 (雑誌含む)
伊勢図書館	121,652 人	396,188 冊	268,579 冊
小俣図書館	51,989	222,358	192,482
生涯学習センター分室	1,139	2,549	1,590
沼木分室	183	332	1,638
豊浜分室	227	627	2,121
神社分室	379	848	1,738
城田分室	223	506	2,541
北浜分室	193	299	2,335
浜郷分室	748	2,014	2,372
宮本分室	224	497	2,367
大湊分室	1,469	2,491	2,071
四郷分室	452	980	2,177
二見公民館分室	394	817	340
ハートプラザみその分室	1,187	3,107	4,683
市立伊勢総合病院分室	123	337	4,342
計	180,582	633,950	491,376

エ 利用状況

(伊勢図書館)

開館日	入館者	予約	インターネット予約	リクエスト	相互借受	相互貸出	複写
288日	200,086人	8,654冊	30,354冊	3,698冊	2,025冊	796冊	792件
映像資料	聴覚資料	インターネット	PCコーナー	レファレンス	視聴覚室	小会議室	展示ホール
2,443件	256件	2,243件	2,377件	726件	192件	168件	97日

(小俣図書館)

開館日	入館者	予約	インターネット予約	リクエスト	相互借受	相互貸出	複写
282日	137,299人	3,794冊	17,291冊	1,378冊	782冊	655冊	211件
映像資料	聴覚資料	インターネット	PCコーナー	レファレンス	ホール	会議室	ギャラリー
3,210件	2件	746件	3,136件	142件	44件	117件	15件

オ 小俣図書館の臨時休館

空調設備改修工事のため、令和7年11月12日（水）から令和8年1月27日（火）まで臨時休館した。期間中は正面入口に臨時窓口を設置し、窓口業務を継続した（工事による全館休館日を除く45日）。また、臨時休館中に特集展示コーナーのリニューアルや新設・書架表示の変更等、館内の大規模整理を実施した。

(3) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小俣町本町地内	(※1) 小俣図書館空調設備改修工事	空調設備改修一式	円 202,064,500	7.7.2	8.2.27
八日市場町地内	(※1) 伊勢図書館昇降式照明改修工事	照明設備改修一式	2,613,600	7.7.8	7.9.19
〃	(※1) 伊勢図書館受電設備改修工事	受電設備改修一式	3,973,200	7.7.15	7.12.26
小俣町本町地内	(※1) 小俣図書館排煙窓開閉装置修繕工事	排煙窓修繕一式	1,991,000	7.10.14	8.3.13
八日市場町地内	(※1) 伊勢図書館空調機取替工事	空調機取替一式	6,573,600	7.10.28	7.12.26
〃	(※1) 伊勢図書館受電設備改修(その2)工事	受電設備及び発電設備改修一式	1,996,500	7.12.12	8.3.27
〃	(※2) 伊勢図書館駐車場区画線再塗装工事	駐車場区画線再塗装	726,000	8.1.30	8.3.25

(※1) 営繕課施行 (※2) 維持課施行

○子ども読書推進事業（款）11. 教育費（項）1. 教育総務費（目）3. 教育振興費

令和6年度の子ども読書支援プロジェクト始動に伴い、図書館分野における専門人材を引き続き登用し、また、司書資格を有する正規職員を採用するなど、市立図書館と学校・幼稚園・保育所をはじめとした関係機関との連携を推進した。子どもたちが自ら進んで本を手に取り読書を楽しむとともに、市立図書館の非来館型サービスとして電子書籍の提供など、生涯にわたる読書習慣を身につけることができる環境づくりを進めた。

1 学校図書館関係

（1）学校図書館資料の充実

児童生徒の多様な興味・関心に応える図書を整備し、読書活動を推進した。また、文部科学省が定める学校図書館図書標準の維持に努めるとともに、古い資料の整理を行った。

（2）子ども読書支援プロジェクト実証事業

令和6年度に引き続き、学校図書館の学習・情報センター機能を強化するため、モデル校（小学校3校）を指定し、学校図書館司書の配置日数増加による提供サービスの充実や機能向上、教育活動の変化について実証を行った。

（3）学校図書館活性化支援事業

学校図書館の学習・情報センター及び読書センター機能の強化を図り、授業における学校図書館活用や児童生徒の知的好奇心・読書欲求を満たすため、全市立小中学校（32校）の図書館に司書資格を有する図書館スタッフを配置した。これにより、図書館業務のスムーズな管理運営、子どもたちへのオリエンテーション、読み聞かせ、学習に関する特設コーナーの設置等、学校図書館活動の活性化を図った。

2 子ども読書活動推進会議

子ども読書活動の活性化を図るため、伊勢市子ども読書活動推進計画に関する重要事項について審議を行った。

・委員数 10名

・会議 第1回 令和7年7月16日（水） 小俣公民館

第2回 令和8年2月16日（月） 小俣総合支所

3 ブックスタート支援事業

乳幼児の保護者に絵本2冊とアドバイス集が入ったブックスタートパックを配布し、絵本を通して親子がふれあう時間を持つきっかけをつくった（配布人数553人）。

4 電子図書館のコンテンツ拡大

令和6年4月1日から本格運用を開始した「伊勢市電子図書館」の児童向け電子書籍コンテンツを1,670冊に拡大した。

・総閲覧数 386,922回

社 会 教 育 課

○ 社会教育関係

1 社会教育推進事業 (款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 2. 社会教育推進費

・・・支出額 301,910円

社会教育委員兼公民館運営審議会委員会議

(1) 委員数 11名

(2) 会議

社会教育関係事業の実施状況についての審議や意見交換等を実施した。

第1回 令和7年7月3日 小俣総合支所

第2回 令和7年11月6日 小俣公民館

第3回 令和8年3月5日 上下水道部庁舎

(3) 委員研修

第56回東海北陸社会教育研究大会岐阜大会に参加した。

開催日 令和7年10月3日

場 所 岐阜県瑞穂市

2 生涯学習推進事業 (款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 2. 社会教育推進費

・・・支出額 1,924,195円

(1) 生涯学習講座

生涯学習の学習機会と学習場所を提供するため、二見・小俣・御園の各公民館等で、生涯学習講座を開催した。

ア 二見公民館講座

	No.	講座名	延べ回数	延べ 受講者数	場所
前期	1	カルトナージュ	5 回	53 人	二見生涯学習センター
	2	はじめてのパンづくり	5	76	二見公民館
後期	1	水引細工	6	34	二見生涯学習センター
	2	はじめてのパンづくり	5	62	二見公民館
年末	1	手打ちそば体験	2	12	//
	2	親子で手打ちそば体験	1	12	//
年始	1	手打ちそば体験	2	12	//
	2	かんたんピラティス	5	73	二見生涯学習センター
	計	—	31	334	—

イ 小俣公民館講座

	No.	講座名	延べ回数	延べ 受講者数	場所
前期	1	楽しく話そう英会話	5 回	46 人	小俣公民館
	2	手話で話してみよう	10	125	〃
	3	水引細工	5	28	〃
	4	ピラティス	10	82	小俣農村環境改善センター
後期	1	楽しく話そう英会話	5	43	小俣公民館
	2	手話で話してみよう	10	77	〃
	3	楽しく！声トレ！脳トレ！	5	48	小俣農村環境改善センター
	4	フラダンス	8	46	〃
夏季	1	高校生によるシニアのためのスマホ教室【高校連携講座】	2	29	いせトピア
	2	電気＆隠れた文字の不思議＆おせんべい作りで親子の絆を深めよう！【産官学連携講座】	1	40	IXホールディングス（株）
単発	1	えいごであそぼう【高校連携講座】	2	26	新道商店街（魚勘）
	2	争わない相続準備【民間活用講座】	2	39	小俣農村環境改善センター
年末	1	ほめちぎるドローン空撮体験【民間活用講座】	1	15	三重電子スマイルアリーナ小俣
	2	年金のしくみと受給前に考えておくべきこと【民間活用講座】	1	9	小俣公民館
年始	1	美姿勢ピラティス	8	68	小俣農村環境改善センター
	2	星の導きを知る（はじめてのホロスコープレッスン）	4	36	小俣公民館
	計	—	79	757	—

ウ 御園公民館講座

	No.	講座名	延べ回数	延べ 受講者数	場所
前期	1	姿勢のゆがみ改善ストレッチ	10 回	151 人	御園公民館
	2	はじめての消しゴムはんこ	5	45	〃
	3	はじめての三味線	5	43	〃
後期	1	姿勢のゆがみ改善ストレッチ	10	138	〃
	2	七宝焼	5	36	〃
	3	やさしい韓国語	5	127	〃
年末	1	伊勢のしめ飾り作り	1	7	〃
年始	1	キックアウト	5	38	〃
	計	—	46	585	—

(2) 家庭教育応援講座

家庭教育を支援するため、親子がふれあいながら楽しめる親子参加型講座を開催し、子育ての悩み等に対応するためグループワークや個別相談を実施した。また、子育て支援センターにて利用者を対象に座学講座を開催した。

- ・伊勢あったか子育て広場【親子参加型】10講座（受講者68人）
- ・子育て支援センター共催講座【座学】4講座（受講者24人）

(3) 伊勢文化サークル協会活動への支援

自主事業及び文化祭等の活動支援

生涯学習サークルの集合体である伊勢文化サークル協会の活動支援を行った。

支部名	構成員	内容	日程	場所
二見支部	20団体 225人	作品展示会	7.10.25～26	二見公民館
		芸能発表会	7.11.1	二見老人福祉センター
		囲碁大会	7.11.14	二見公民館 和室
小俣支部	30団体 460人	作品展示会	7.10.18～19	小俣農村環境改善センター、小俣図書館
		芸能発表会	7.11.9	小俣農村環境改善センター
御園支部	19団体 164人	作品展示会	7.11.15～16	ハートプラザみその
		芸能発表会	7.10.19	

3 放課後子ども教室運営事業（款）11. 教育費（項）5. 社会教育費（目）2. 社会教育推進費 ・・・支出額 1,838,337円

地域社会の中で、子どもたちが放課後等に安全で健やかに過ごせる活動場所を確保するため、「放課後子ども教室」を実施した。

事業実施にあたって、伊勢文化サークル協会等と連携して、子どもたちに様々な体験・活動を提供した。

名 称 「放課後子ども教室」（伊勢市における名称：いせ子どもチャレンジ教室）

実施講座数 28講座（受講者 連携型152人、校内交流型261人）

財 源 放課後子ども総合プラン実施事業費補助金

補助率（国1／3、県1／3）

○ 施設関係

1 公民館管理運営経費 （款）11. 教育費（項）5. 社会教育費（目）2. 社会教育推進費 ・・・支出額 53,567,352円

社会教育及び生涯学習活動の拠点として使用されている3公民館（二見、小俣、御園）の管理、運営を行った。

各地域にある8公民館（旧伊勢市1、旧小俣町2、旧御園村5）については、地元自治会が指定管理者（※指定期間：令和7年4月1日～令和10年3月31日）となり、地域の活動拠点として

管理している。

※高麗広公民館については、指定期間：令和8年4月1日～令和13年3月31日

(1) 使用状況

ア 二見公民館

区分	使用回数	使用人数
会 議 室	52 回	435 人
第1和室	78	736
第2和室	62	448
視聴覚室	5	33
調理実習室	169	2,113
計	366	3,765

イ 小俣公民館

区分	使用回数	使用人数
第1会議室	413 回	24,931 人
第2会議室	362	943
学 習 室	202	1,845
2階会議室	232	1,337
3階会議室	77	365
団 体 室	134	395
講 堂	118	1,541
計	1,538	31,357

ウ 御園公民館

区分	使用回数	使用人数
講 堂	652 回	16,744 人
学 習 室	254	2,108
研修室2-1	239	1,235
和室研修室	71	194
計	1,216	20,281

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金 額	着 工	完 工
御 園 町 上 條 地 内	(注) 上條公民館分館解体 工事	解体工事一式	円 2,674,100	7. 9. 2	7.10.31
御 園 町 小 林 地 内	(注) 小林公民館修繕工事	建築改修一式	4,734,400	7. 9.24	7.11.21
御園町王中島 地 内	(注) 王中島公民館防水改 修工事	防水改修一式	4,006,200	7. 9.24	7.11.21
御 園 町 長 屋 地 内	上長屋公民館改修工 事	建築改修一式	1,606,000	7.10.15	7.11.28

小 俣 町 元 町 地 内	(注) 小俣公民館照明改修 工事	照明設備改修一 式	円 9,020,000	7.11. 4	8. 3. 3
御 薊 町 小 林 地 内	小林公民館2階空調 機取替工事	空調機取替一式	704,000	7.11. 7	7.12.19
御 薊 町 新 開 地 内	(注) 新開公民館防水改修 工事	防水改修一式	6,218,300	7.12.23	8. 3. 6
小 俣 町 宮 前 地 内	高畑公民館消防設備 改修工事	建築改修一式	1,177,000	8. 1.16	8. 3.16
御 薊 町 上 條 地 内	上條公民館2階ベラ ンダ手摺取替工事	//	1,320,000	8. 1.16	8. 2.27
御 薊 町 高 向 地 内	(注) 新高公民館修繕工事	内外装改修一式	3,638,800	8. 1.27	8. 3.18
御 薊 町 長 屋 地 内	(注) 下長屋公民館修繕工 事	建築改修一式	1,905,200	8. 2. 3	8. 3.19

(注) 営繕課施行

(3) 高麗広公民館

利用状況

利用回数	延べ利用者数	主な内容
41回	488人	転倒防止予防講座・公民館美化活動・例会等

2 生涯学習センター施設維持管理経費(款)11.教育費(項)5.社会教育費(目)2.社会教育推進費 ・・・支出額 119,451,649円

(1) 伊勢市生涯学習センター(いせトピア)

民間能力を活用し、施設の効果的で効率的な管理運営を行うため、平成18年4月から指定管理者制度を導入している。指定管理者は、施設の維持管理のほか、各種講座やイベントを開催する等、市民の生涯学習へのきっかけづくりに取り組んでいる。

施設名	指定管理者	指定期間	指定管理料(千円)
伊勢市生涯学習センター	特定非営利活動法人 まなびの広場	6. 4. 1 ～ 11. 3.31 (5年間)	総額 451,399(予定) (各年度) ※R6 88,987 ※R7 90,012 R8 90,800 R9 90,800 R10 90,800

※令和6年度については、電気代補填▲1,813千円を含む。

※令和7年度については、指定管理料スライド制度及び電気代補填▲788千円を含む。

ア 利用状況

区分		利用回数	利用人数
多目的 ホール	ホール全体	336 回	36,341 人
	舞 台のみ	77	1,280
	フロアのみ	105	3,420
楽 屋1		137	148
楽 屋2		108	102
学習室1		810	9,068
絵画室		351	2,747
工芸室		346	3,392
会議室1		224	1,467
調理室		227	1,939
和 室		240	1,615
学習室2		415	5,083
学習室3		524	6,162
会議室2		477	3,857
研修室1		435	15,623
研修室2		434	530
文化交流室		624	9,105
パソコン室		233	1,734
れいんぼうルーム		193	401
団体室		546	805
ふれあい広場		358	3,526
計		7,200	108,345

イ 講座の実施状況

期別	講座種別	講座数	延べ受講者数
年 間 (1期～4期)	6か月講座	19 講座	531 人
	4か月講座	31	409
	パソコン講座	13	112
	短期講座	46	588
	子ども向け講座	18	175
	特別講座	9	56
計		136	1,871

ウ イベント事業の実施状況

開催日	行事名	内容	入場者数
7. 5. 31	第1回公開講座	講師 稲本 悠（元刑事） 演題 あなたの情報を守る ～スパイから闇バイト・特殊詐欺 まで～	156 人
7. 8. 3	子ども夏まつり	リサイクル工作等	925

7. 8. 23	第2回公開講座	講師 鈴川 茂（予備校講師） 演題 細胞博士と学ぶ 「はたらく細胞」	105 人
7. 10. 27	名作映画鑑賞会	羅生門・卯月物語	91
7. 10. 28	//	不知火儉校・座頭市物語	47
7. 11. 22	第3回公開講座	講師 高信 幸男（名字研究家） 演題 あなたの知らない名字の世界 ～名字には隠れた日本文化がある～	197
8. 1. 11	子ども新春まつり	リサイクル工作等	804
8. 2. 7 8. 2. 8	生涯学習フェスティバル	成果発表会（舞台部門・展示部門）	2,545
8. 3. 7	名作映画会（県共催事業）	ローマの休日	258
8. 3. 21	第4回公開講座	講師 河合 敦（多摩大学客員教授） 演題 目からウロコの日本史	344

エ 親子リフレッシュ教室

家庭教育に対する支援の一環として、就学前の親子が集い交流する場を提供するため、毎月2回木曜日に事業を実施した。

開催回数	延べ参加者数		主な内容
	保護者	子ども	
23回	172人	182人	リズム体操等

（2）二見生涯学習センター

生涯学習活動の場として研修室やホール等の貸出を行っている。

施設は、市が管理を（公社）伊勢市シルバー人材センターへ委託している。

使用状況

区分	使用回数	使用人数
研修室2	125 回	1,421 人
研修室3	189	1,033
研修室4	72	531
ホール	404	4,792
計	790	7,777

（3）工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金 額	着 工	完 工
黒 瀬 町 地 内	（注） 伊勢市生涯学習センター空調制御装置修繕工事	空調制御装置修繕一式	円 8,413,900	7. 5. 20	7. 10. 31
//	伊勢市生涯学習センター電動式移動観覧席修繕工事	電動式移動観覧席修繕一式	1,039,500	7. 5. 28	7. 8. 5

黒瀬町 地内	(注) 伊勢市生涯学習セン ター自動扉改修工事	自動ドア改修一 式	円 5,797,000	7.10.28	8.2.24
-----------	-------------------------------	--------------	----------------	---------	--------

(注) 営繕課施行

3 学習等供用施設維持管理経費(款) 11. 教育費(項) 5. 社会教育費(目) 2. 社会教育推進費
・・・支出額 19,353,635円

各地域にある17施設(旧伊勢市11、旧二見町1、旧小俣町5)について、地元自治会が指定管理者(指定期間:令和7年4月1日~令和10年3月31日)となり、地域の活動拠点として管理している。

(1) 利用状況

小俣北部公民館

区分	利用回数	利用人数
集会室	236 回	2,954 人
学習室1	32	217
学習室2	73	441
学習室3	150	1,040
計	491	4,652

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金 額	着 工	完 工
西豊浜町 地内	(注) 西豊浜町上区町民 会館解体工事	解体工事一式	円 8,885,800	7.5.14	7.7.11
〃	小川町民会館改修 工事	建築改修一式	1,210,000	7.11.18	7.12.26
小俣町明野 地内	明野公民館改修工 事	〃	1,573,000	7.12.22	8.2.4
有滝町 地内	有滝町民会館改修 工事	〃	1,474,000	8.1.29	8.3.13
中須町 地内	坂東会館修繕工事	防水改修一式	1,347,500	8.2.4	8.3.19
村松町 地内	村松町民会館改修 工事	建築改修一式	1,083,500	8.2.26	8.3.25

(注) 営繕課施行

4 農村環境改善センター維持管理経費

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 4. 農業用施設管理費

・・・支出額 10,820,727円

生涯学習活動の場として研修室やホール等の貸出を行っている。

施設は、市が管理を(公社)伊勢市シルバー人材センターへ委託している。

小俣農村環境改善センター 使用状況

区分	使用回数	使用人数
1階会議室	376 回	2,934 人
和 室	239	1,654
実 習 室	251	1,332
多目的ホール	703	30,234
2階会議室	143	837
研 修 室	124	896
計	1,836	37,887

5 公民館等集会施設の譲渡等の取り組み

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 2. 社会教育推進費

施設類型別計画に基づき、市が公共施設として所有している公民館(12施設)及び学習等供用施設(20施設)を地元自治会、町会、区等へ譲渡するための取り組みを行った。

譲渡等の進捗状況

区 分		件数
完了	譲渡	1件
	管理主体変更	5
	廃止	2
	小 計	8
譲渡等申請書	譲渡	8
	管理主体変更	8
	廃止	0
	小 計	16
検討中		8
合 計		32

○ 青少年育成関係

1 青少年健全育成推進事業 (款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 4. 青少年育成費

・・・支出額 2,387,784円

(1) 青少年健全育成事業

青少年問題の重要性を深く認識し、関係機関及び団体との緊密な連携を図り、広く市民からの理解と協力を得て、次代を担う青少年の健全育成活動を推進することを目的とし、青少年健全育成活動を実施した。

ア 青少年健全育成のための広報、啓発活動

全国的に展開される青少年健全育成活動に合わせ、健全育成運動の広報啓発活動に努めた。

「青少年の被害・非行防止全国強調月間」 令和7年7月1日～7月31日

三重県主催「青少年被害・非行防止夏季強調月間」 令和7年7月1日～8月31日

「子供・若者育成支援推進強調月間」 令和7年11月1日～11月30日

イ 研修活動及び関係機関・団体との連携

情報交換会等を含めた各種関係機関との研修会、会議へ参加した。

- ・南勢地区高等学校生徒指導連絡協議会（3回）
- ・伊勢市小・中学校生徒指導協議会（5回）
- ・（公財）三重こどもわかもの育成財団（総会・研修会）
- ・伊勢警察署（連携）

ウ 青色回転灯車両による下校時の学校周辺等パトロール

小学校1年生の下校時に合わせ、青色回転灯車両にて定期的に校区のパトロールを実施した。また、不審者情報が入った場合には、直近、定期日時に該当地区を巡回する等、不審者対策に努めた。

（2）伊勢市青少年問題協議会

地方青少年問題協議会法（昭和28年法律第83号）に基づき、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策のために設置された伊勢市青少年問題協議会において、青少年健全育成における活動方針等を協議した。

- ・開催日：令和8年2月5日
- ・開催場所：二見生涯学習センター

（3）伊勢市青少年育成市民会議

青少年の保護及び健全な育成のため、広報・啓発及び調査研究等、青少年健全育成の推進に必要な事業を、伊勢市青少年育成市民会議に委託し、各中学校区単位で組織された青少年育成協議会と連携した地域主導型による青少年健全育成活動に取り組んだ。

ア 伊勢市青少年育成市民会議講座の開催

No.	講座名	延べ回数	延べ受講者数	親子数	場所
1	親子で楽しむクリエイティブアート（スチレン版画）	1回	16人	8組	いせトピア
2	親子で楽しむクリエイティブアート（偏光板万華鏡）	1	19	8	〃
計	—	2	35	16	—

イ 運営委員会の開催

令和8年度の中学生のメッセージ2026（第48回少年の主張三重県大会）についての情報共有を行った。また、学校教職員・PTA・運営委員を対象に、教育メディア課によるSNS

やインターネット社会の危険性についての研修会を開催した。

第1回 令和7年5月13日 小俣公民館

第2回 令和7年10月21日 //

第3回 令和8年2月25日 //

ウ 南勢志摩地区支部研修会の開催

定住自立圏内の地域活動者等を対象とした研修会を南勢志摩地区の青少年育成市町民会議と共催で開催した。

・開催日：令和7年11月2日

・開催場所：いせトピア

・内容：「オンラインカジノ・闇バイトにNO!」

・講師：兵庫県立大学環境人間学部 教授 竹内 和雄 氏

・参加者数：113人（伊勢市103人）※オンライン参加含

エ 中学校区青少年健全育成協議会との連携

各中学校区単位で組織された青少年健全育成協議会による地域に根ざした青少年健全育成活動を支援した。

オ 関係団体との連携

（公財）三重こどもわかもの育成財団をはじめ、県内の市町民会議との連携を図った。特に、南勢志摩地区の市町民会議との連携を密にし、地区内の情報共有に努めた。

（４）青少年相談センターの管理運営

健全な育成に寄与することを目的に、青少年の非行について早期発見、早期指導及び青少年に関する相談並びに情報収集に努めた。また、関係機関及び団体等との協力体制を維持し、合同活動の拠点として青少年の非行防止等を図った。

ア 青少年相談センター運営協議会の設置

青少年相談センター業務の具体的な活動計画を協議した。

・開催日：令和7年6月2日

・開催場所：小俣公民館

イ 青少年相談センターの活動

○青少年の非行防止のための街頭指導

・青少年指導員の委嘱

中央指導員 68人	小中高等学校教職員・女性団体・保護司 主任児童委員・青少年相談センター職員
地区指導員 143人	小中学校教職員・PTA・有識者

・街頭指導の実施状況

実施回数	活動人数	指導・声掛けを受けた人数
258回	延べ684人	251人

○青少年に関する相談の受付

青少年やその関係者を対象に、相談員による青少年相談を受けた。内容により、関係する機関への相談・連絡・案内・紹介を行った。

[相談活動の実施状況]: 面談 2件、電話 8件、メール・Logoフォーム 4件

○青少年の健全育成に資する機関、団体等との連携

伊勢市小中学校生徒指導協議会、南勢地区高等学校生徒指導連絡協議会、伊勢市教育研究所スマイルいせ、伊勢市福祉総合支援センターこども家庭相談係及び伊勢警察署等と連携し、生徒指導の情報共有を図った。

○青少年相談センターだより『輪』の発行

青少年の非行防止、健全育成に役立つ情報や小中学校からの保護者向けの情報を共有し、青少年指導員を中心に配付した。(9回発行)

2 二十歳のつどい開催事業(款) 11. 教育費(項) 5. 社会教育費(目) 4. 青少年育成費

・・・支出額 1,753,500円

成人の日になみ、二十歳を迎えた皆さんを祝い応援するために、「伊勢市二十歳のつどい(成人式)」を開催した。開催にあたっては、市内の各中学校区等から推薦を受けた代表により伊勢市二十歳のつどい実行委員会を組織し、自ら企画・運営を行った。

・開催日: 令和8年1月11日

・開催場所: シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢(伊勢市観光文化会館)

・参加者数: 932人

ス ポ ー ツ 課

○ スポーツ振興関係

Ⅰ 伊勢市スポーツ推進審議会

スポーツ基本法第31条の規定に基づき、スポーツの推進及び各種団体の育成を図るとともに、生涯スポーツの普及・充実に努めるため設置した審議会において、「第3期伊勢市スポーツ推進計画」の進捗を管理した。

(1) 委員数 12人

(2) 開催回数 2回

(3) 内容

開催回数	開催日	審 議 事 項
第1回	7. 7. 11	・ 第3期伊勢市スポーツ推進計画の令和6年度取組結果について ・ 第3期伊勢市スポーツ推進計画の令和7年度実施計画について ・ 中学校部活動の地域展開について
第2回	8. 3. 2	・ 第3期伊勢市スポーツ推進計画の令和7年度取組結果について ・ 第3期伊勢市スポーツ推進計画の令和8年度実施計画について ・ 中学校部活動の地域展開について ・ 第4期伊勢市スポーツ推進計画の策定予定について

【参考】第3期伊勢市スポーツ推進計画

計画期間：令和4年度～令和8年度（5年間）

目標とする姿：「ライフステージに合わせてスポーツを楽しめるまち」

～子どもから高齢者まで、だれもが自分自身のスタイルでスポーツを楽しめるまちを目指します。～

基本方針：①スポーツ活動の充実

②スポーツ関係団体の連携・強化

③スポーツ施設の利便性の向上

2 スポーツ大会等

一人でも多くの方がスポーツに親しむ社会実現のため、生活の中に自然にスポーツが取り込まれている「スポーツ・イン・ライフ」という姿を目指すことを目標に、生涯スポーツや競技スポーツの普及振興を図るため、スポーツ大会等を開催した。

・ 主な事業

開催日	大会名・事業名	参加人数
7. 6. 29	ちびっこ超人選手権大会 2025	358 人
7. 10. 15～21	伊勢神宮奉納社会人野球 第73回 JABA 伊勢・松阪大会	4,035 (注1)

8. 2. 1	橋本大輝選手体操教室&トークショー ～Daiki Dream Clinic～ (注2)	312人 (注3)
8. 2. 15	第19回美し国三重市町対抗駅伝 (注4)	36
8. 3. 8	第1回伊勢鳥羽志摩リアス式チャリフェス (注5)	310
8. 3. 26～28	第37回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会	1,632 (注6)

(注1) ダイムスタジアム伊勢(倉田山公園野球場)における参加者及び観客数

(注2) 包括連携協定 日本生命保険相互会社津支社と連携

(注3) 体操教室・トークショー参加者数

(注4) 参加に向けて伊勢市選手団を結成し、結団式及び練習会(3回)を実施した。

(注5) NCR利活用推進イベント実施協議会(三重県・伊勢市・鳥羽市・志摩市)の主催事業

(注6) 大会2日間の監督・選手の延べ数

3 総合型地域スポーツクラブ

生涯スポーツ社会の実現に向けて、地域のスポーツ施設を拠点として、子どもから高齢者まで全ての地域住民が、各自のニーズに沿って気軽にスポーツ活動に参加できる地域住民主体の総合型地域スポーツクラブの育成を図った。各クラブにおいて、年間を通じて数多くのスポーツ教室等を開催し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方々の参加があった。

また、皇學館大学と連携して合同体験教室を開催した。この教室は、市内の小学生を対象に実施するとともに、中学校部活動地域移行を見据え、軟式野球、陸上競技、駅伝競走において、市内中学生を対象に実施した。

・皇學館大学合同体験教室(令和7年度 参加実績)

	種目	回数	参加人数(延べ人数)
小学生	軟式野球	2回	41人
	サッカー	2	37
	バスケットボール	2	35
	卓球	4	79
	空手	5	45
	陸上競技	4	77
	駅伝競走	2	101
中学生	軟式野球	1	40
	陸上競技	4	2
	駅伝競走	2	37
	計	28	494

・総合型地域スポーツクラブ会員数

(会員数は令和8年1月1日現在)

名称	対象地区	設立年月日	会員数
いすずウキウキクラブ	五十鈴中学校区	平成16年 3月13日	661人
厚生総合型スポーツクラブ	厚生小学校区	平成16年 4月 7日	697
みそのスポレククラブ	御園中学校区	平成16年 4月18日	287
北浜はつらつクラブ	北浜小学校区	平成16年 5月16日	171
きだっこクラブ	城田中学校区	平成17年10月 9日	450
おばたスポレククラブASREC	小俣中学校区	平成18年 4月23日	500
ふたみふれ愛クラブ	二見中学校区	平成24年 2月26日	230
有緝わくわくクラブ	有緝小学校区	平成27年 4月21日	462
計			3,458

4 全国大会等参加激励事業

各種スポーツ大会で予選大会等を経て、全国大会に出場する個人や団体、もしくは、本市または、三重県ブロック代表等で全国大会に出場する個人や団体に激励金を支給した（学校の部活動顧問として児童生徒を引率する者を含む。）。

また、全国規模以上のスポーツ大会において、優勝又はそれに準ずる成績を収めた選手に対し、本庁舎本館1階ロビーへ名前を掲示し、その功績を称えた。

・支給件数 152件

・支給額 4,775,000円

・主な大会 U18アジア陸上選手権、全国高校サッカー選手権大会、JOCジュニアオリンピックカップU18U16陸上競技大会、都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会、国民スポーツ大会/全国障害者スポーツ大会、全国高等学校総合体育大会ほか

5 伊勢市スポーツボランティア功労者に対する感謝状贈呈

スポーツ分野において、長年ボランティア活動を続け、伊勢市のスポーツ振興に寄与されている方に教育長から感謝状を贈呈した。

・実施日 令和7年12月9日（火）

・受賞者数 1人

・推薦者 伊勢市スポーツ推進委員連絡協議会

6 スポーツ推進委員

各地域において、スポーツ行事や教室等を開催し、地域におけるスポーツの普及や振興を図るとともに、地域住民に対し指導助言を行った。

スポーツ推進委員で構成する伊勢市スポーツ推進委員連絡協議会の主催事業である「ちびっこ超人選手権大会2025」において、運営の中心的な役割を果たし、生涯スポーツの振興に貢献した。

・委員数 52人

7 スポーツ少年団

子どもたちのスポーツ活動に関する視野を拡大し、競技人口の一層の拡大を図るとともに、規律ある団活動を通じて、子どもたちの心身の健全な育成に寄与した。

- ・ 団数 33団
- ・ 団員数 940人（令和7年9月現在）
- ・ 主な事業

開催日	事業名	参加人数
7. 5. 25	体力テスト事業「スポーツテスト2025」	347人
7. 9. 23	伊勢度会地域交歓会「スポ少フェスタ2025」	374
7. 12. 21	全体交流事業	364
8. 1～ 8. 3	種目別交流事業 （実施種目：バドミントン、野球、サッカー、複合）	590

8 スポーツ協会

アマチュアスポーツ競技団体を統括するとともに、市民の体力向上とスポーツ精神の高揚に努め、あらゆるスポーツの健全な普及振興に寄与した。

各競技団体においては、競技の普及やジュニア育成、競技力向上等のための大会や教室を開催した。

- ・ 加盟競技団体数 28団体

9 レクリエーション協会

生涯スポーツの充実を図るため、誰もが親しみやすく参加しやすいレクリエーション大会や教室を協会及び所属団体において開催した。

- ・ 所属団体数 7団体
- ・ 市民ふれあいスポカルウォーク

開催日	内 容	参加人数
7. 4. 27	「五十鈴川派川に沿って」二見町 （昼河古墳群、栄野神社、太江寺）	126人
7. 6. 1	「かんこ踊りの里」円座町 （米山新田、姫路城模型、円座のかんこ踊り）	117
7. 9. 21	「大仏山ぐるっとひと廻り」小俣町 （大仏山、八端古窯址、伊勢街道）	111
7. 11. 16	「潮の香りと漁港」有滝町 （山田奉行所跡、高ノ御前遺跡、有滝漁港）	110
8. 3. 8	「新開臥竜梅公園」御園町 （新開臥竜梅公園、御園神社、上條・小林のかんこ踊り）	103

・第16回伊勢市民ダンス＆体操フェスティバル2025

開催日	開催場所	参加人数
7.10.26	三重県営サンアリーナ（サブアリーナ）	1,215人

10 インクルーシブスポーツの推進

福祉部局、伊勢市パラスポーツ協会、包括連携協定を締結している企業、皇學館大学等、連携の輪を広げ、障がいの有無、年齢、性別、国籍等に関わらず、誰もが自分のスタイルでスポーツを楽しむことができるインクルーシブスポーツの推進を図った。

また、令和5年度から皇學館大学学修プログラムC L L活動を活用し、学生とともに小学校の出前授業や社会福祉施設への出前講座、インクルーシブスポーツイベントの企画・運営を行い、インクルーシブスポーツの普及促進を図った。

さらに、伊勢志摩定住自立圏域の近隣市町と連携し、ボッチャ交流大会及びいせスポーツフェスティバルを開催し、広域でのインクルーシブスポーツの普及と交流促進を図った。

・主な事業

開催日	内容	参加人数
7. 6. 8	ボッチャ交流大会（注1）	204人 （注2）
7.10. 5	いせスポーツフェスティバル2025（注3） ・インクルーシブスポーツ体験 ボッチャ、モルック、ピックルボールなど	2,300
7.10.25	楽しくチャレンジ！アーバンスポーツ×インクルーシブスポーツ体験会2025 Supported by イオン伊勢店 ・インクルーシブスポーツ体験 ボッチャ、バグジー、ディスゲッターqなど ・アーバンスポーツ体験会（注4）	450
7.11.24	公園からはじまるみんなの共生社会シンポジウム（注5） ・インクルーシブスポーツ体験 バグジー、モルック、ボッチャ	500

（注1）伊勢志摩定住自立圏域内市町及びスポーツ推進委員、伊勢市パラスポーツ協会と連携

（注2）68チーム参加

（注3）皇學館大学学修プログラムC L L活動等と連携

（注4）イオン伊勢店共催事業

市主催事業として初めてアーバンスポーツを取り入れたイベントを実施予定であったが、雨天のため中止

（注5）健康福祉部高齢・障がい福祉課、都市整備部基盤整備課、教育委員会事務局学校教育課と連携

（1）皇學館大学学修プログラムC L L活動

・名称 インクルーシブスポーツ推進プロジェクト

- ・参加者数 25人（皇學館大学生）
- ・取組内容
 - ①いせスポーツフェスティバル2025インクルーシブスポーツ体験の企画・運営
 - ②インクルーシブスポーツ体験出前授業の企画・運営
 - ③社会福祉施設への出前講座の企画・運営
 - ④三重テレビ旬感☆Mieへの出演（皇學館大学生2人）
- ・インクルーシブスポーツ体験出前授業

開催日	実施校	学年・クラス	参加人数
7.10.10	北浜小学校	1年・2年・4年	44人
7.10.14	中島小学校	5年1組・2組	37
7.10.27	浜郷小学校	1年・3年A組	59
7.11.19	厚生小学校	2年1組・2組	36（中止）
7.11.26	二見浦小学校	1年・2年	68
7.12.12	城田小学校	1年A組・B組 4年A組・B組	84

- ・インクルーシブスポーツ体験出前講座

開催日	実施施設	参加人数
7.8.22	社会福祉法人 伊勢医心会 デイサービス神路園・伊勢市養護老人ホーム万亀会館	40人
7.8.27	社会福祉法人 三重済美学院	30

（２）インクルーシブスポーツ開催業務委託

インクルーシブスポーツの普及・促進を図るため、伊勢市スポーツ協会に所属する団体に開催を委託した。

開催日	内容	委託先
7. 6. 7～ 8.30	インクルーシブセーリング体験	伊勢市ヨット協会
7.11. 3	みんなでウォーキングフットボール	NP0法人南勢サッカー協会
8. 1.18	インクルーシブスポーツフェスタ	伊勢市パラスポーツ協会

II 野口みずき杯2025中日三重お伊勢さんマラソンの開催

三重県営サンアリーナを発着としたコースにて、伊勢市出身でアテネオリンピック女子マラソン金メダリストの野口みずき氏を大会長に迎え、地域の活性化とスポーツ振興、そして健康づくりを目的として開催した。

大会当日は、野口みずき大会長がコースの一部に参加者と一緒に走るなど大会を大いに盛り上げた。

また、今年度より日本陸連公認コース検定の更新に伴いハーフマラソンコースをリニューアルし、新たに三重交通Gスポーツの杜伊勢陸上競技場のトラックをコースの一部に含み、大型スクリーンヘランナーの走る姿を映し出す演出や、地元中学生による吹奏楽演奏等を計画した。昨年

度に引き続き「みえ松阪マラソン」とのコラボ企画として、ダブルエントリーキャンペーンを実施する等、大会の新たな魅力の発信を行った。

大会参加者の募集は、伊勢市民先行エントリーについては、令和7年7月2日に、一般エントリーについては、令和7年7月9日から行った。

ウォーク、バリアフリーラン、ランニング合わせて11,425人の申し込みがあった。

様々な取組が評価され、日本最大級のランナーポータルサイト「RUNNET」において、2025年「全国ランニング大会100撰」に3年連続で選出された。

(1) 大会概要

ア 開催日：ウォーク、バリアフリーラン 令和7年12月6日（土）
ランニング 令和7年12月7日（日）

イ 種目：ウォーク 約6km バリアフリーラン 約1.8km
ランニング 5キロ・ハーフマラソン

ウ コース：三重県営サンアリーナを発着地点とし、主に伊勢二見鳥羽ラインを走行する特設コース。ハーフマラソンについては、国道23号を通り「三重交通スポーツの杜伊勢陸上競技場」や「おはらい町」、「野口みずき金メダルロード」の一部であるダイムスタジアム伊勢（倉田山公園野球場）付近も走行。

エ 定員：ウォーク 3,000人
バリアフリーラン 80人
（車いすを使用している人や視覚、知的、発達障がいのある人等を対象）
ランニング 5キロ：2,500人 ハーフマラソン：5,500人

オ 参加者数：ウォーク 2,669人
バリアフリーラン 68人
ランニング 5キロ：2,601人 ハーフマラソン：5,056人

(2) 参加申込者数（詳細）

<ランニング、ウォーク、バリアフリーランの合計（ランニング 日本陸連登録の部除く）>

単位：人

年 代 別	ラ ン ニ ン グ				ウォーク		バリアフリー ラン		計
	5キロ		ハーフマラソン						
	男	女	男	女	男	女	男	女	
10代未満	－	－	－	－	52	49	1	2	104
10代	8	5	12	6	45	64	19	4	163
20代	204	236	659	268	31	80	6	12	1,496
30代	175	132	740	197	54	91	8	3	1,400
40代	303	263	977	298	118	237	3	3	2,202
50代	394	394	1,035	408	201	520	4	1	2,957
60代	247	211	597	148	171	585	5	0	1,964

70代	117	37	108	7	170	260	2	1	702
80代以上	29	5	1	0	46	49	0	0	130
計	1,477	1,283	4,129	1,332	888	1,935	48	26	11,118
	2,760		5,461		2,823		74		
	8,221								

(注) ランニングの10代は大会当日18歳以上（高校生除く）の人

(注) バリアフリーランの伴走者は除く

<ランニング 日本陸連登録の部> 単位：人

年 代 別	5キロ		ハーフマラソン		計
	男	女	男	女	
中高生	100	34	—	—	134
一 般	—	—	141	32	173
計	134		173		307

(3) 都道府県別参加申込者数

<ランニング、ウォーク、バリアフリーランの合計> 単位：人

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	13	埼玉県	50	静岡県	78	鳥取県	10	佐賀県	0
青森県	3	千葉県	39	愛知県	2,123	島根県	0	長崎県	1
岩手県	2	東京都	203	三重県	7,738	岡山県	16	熊本県	2
宮城県	8	神奈川県	93	岐阜県	157	広島県	12	大分県	4
秋田県	0	山梨県	4	滋賀県	91	山口県	2	宮崎県	0
山形県	4	新潟県	4	京都府	99	香川県	8	鹿児島県	6
福島県	3	長野県	25	大阪府	250	徳島県	4	沖縄県	3
茨城県	15	富山県	10	兵庫県	87	愛媛県	5	海外	66
栃木県	9	石川県	49	奈良県	66	高知県	2	計	11,425
群馬県	4	福井県	13	和歌山県	28	福岡県	16	うち伊勢市	2,865

12 全国大会開催の支援

トップアスリートが集う大会の開催を支援した。

開催日	大会名・事業名	金額
7.10.17～19	JOCジュニアオリンピックカップ 第19回U18/第56回U16陸上競技大会	円 10,000,000

13 中学校部活動地域展開

総合型地域スポーツクラブ、スポーツ協会、スポーツ少年団の代表者がアドバイザーとして伊勢市部活動あり方準備委員会（令和7年11月より伊勢市部活動あり方推進委員会に名称変更）に参加し、協議を行った。

皇學館大学と連携して実施している合同体験教室において、市内中学生を対象に陸上競技・駅伝競走・軟式野球の3競技を開催した。

また、学校教育課と連携し、地域スポーツクラブ活動体制整備事業（地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業）を3つのスポーツ団体で実施した。

- ・伊勢度会陸上競技協会（伊勢市スポーツ協会）

拠点型：5回実施（1拠点） 246人参加

- ・伊勢市バレーボール協会（伊勢市スポーツ協会）

拠点型：14回実施（女子2拠点・男子1拠点） 123人参加

- ・いすずウキウキクラブ（総合型地域スポーツクラブ）

五十鈴中との連携：35回実施（サッカー16回・軟式野球19回） 51人参加

○ スポーツ施設関係

Ⅰ 学校体育施設開放事業

地域におけるスポーツの普及振興を図り、また、地域住民がスポーツに親しみ、交流の場となることを目的に、各スポーツ団体に学校体育施設を開放した。

学校体育施設開放の状況（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

学 校 名	施 設 名	件 数	延利用人数
倉田山中学校	体育館	458 件	5,406 人
厚生中学校	体育館	405	6,053
港中学校	体育館	389	4,275
城田中学校	体育館	279	5,244
	運動場	81	2,035
五十鈴中学校	体育館	586	6,165
二見中学校・二見浦小学校	体育館	836	11,295
小俣中学校	体育館	618	6,081
	運動場	143	2,567
	テニスコート	318	2,555
御園中学校	体育館	205	3,329
伊勢宮川中学校	体育館	383	4,630
	運動場	105	1,922
桜浜中学校	体育館	583	8,397
進修小学校	体育館	328	4,964
	運動場	98	1,832
修道小学校	体育館	418	6,780
	運動場	174	5,080
有緝小学校	体育館	405	5,206
	運動場	74	771
早修小学校	体育館	375	4,371
	運動場	62	1,266
中島小学校	体育館	254	2,408

	運動場	99 件	1,485 人
明倫小学校	体育館	471	5,492
	運動場	77	1,151
厚生小学校	体育館	384	5,453
	運動場	138	3,059
佐八小学校	体育館	271	4,515
	運動場	11	342
宮山小学校	体育館	177	2,093
	運動場	78	1,809
浜郷小学校	体育館	356	7,144
	運動場	82	2,409
四郷小学校	体育館	308	3,413
	運動場	117	1,908
豊浜東小学校	体育館	133	1,325
	運動場	24	317
豊浜西小学校	体育館	290	3,209
北浜小学校	体育館	157	2,812
	運動場	49	1,839
東大淀小学校	体育館	165	1,130
城田小学校	体育館	281	4,306
	運動場	108	2,176
上野小学校	体育館	149	1,503
	運動場	13	203
小俣小学校	体育館	671	13,927
	運動場	82	3,036
明野小学校	体育館	804	12,411
	運動場	47	1,093
御薊小学校	体育館	1,016	16,917
	運動場	212	3,771
みなと小学校	体育館	652	9,975
	運動場	83	1,219
計		15,082	224,074

2 市営体育施設管理運営

スポーツ振興のため、各種スポーツを楽しむ市民が施設を快適に利用できるよう、管理運営を行った。

市営体育施設使用状況（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

施 設 名	利用日数	延利用人数
ダイムスタジアム伊勢（倉田山公園野球場） メイングラウンド	297日	66,474人

ダイムスタジアム伊勢（倉田山公園野球場） サブグラウンド	283 日	4,955 人
市営庭球場	344	25,933
市民武道館	269	3,421
北浜スポーツグラウンド	257	3,430
宮川スポーツグラウンド	225	22,360
朝熊山麓公園ソフトボール場	63	3,526
朝熊山麓公園グラウンドゴルフ場	50	308
伊勢フットボールヴィレッジ（Aピッチ）	221	25,341
伊勢フットボールヴィレッジ（Bピッチ）	185	21,105
伊勢フットボールヴィレッジ（Cピッチ）	336	44,408
伊勢フットボールヴィレッジ（Dピッチ）	325	44,758
伊勢フットボールヴィレッジ（Eピッチ）天然芝	20	2,260
二見体育館	320	8,939
二見体育館（ギャラリー）	309	6,045
二見グラウンド	265	12,145
二見グラウンドミーティングセンター	102	569
二見テニスコート	313	7,569
三重電子スマイルアリーナ小俣（小俣総合体育館） アリーナ	359	69,611
三重電子スマイルアリーナ小俣（小俣総合体育館） 柔道場	351	12,772
三重電子スマイルアリーナ小俣（小俣総合体育館） 剣道場	347	11,706
大仏山公園スポーツセンター	321	47,256
大仏山公園スポーツセンター キャンプ場	28	13,366
小俣児童体育館	308	13,608
御薊 B & G 海洋センター体育館	324	16,386
計	—	488,251

3 学校跡運動施設の利用

統合に伴い閉校した学校の運動施設を、その利活用又は処分を決定するまでの間の暫定的な措置として、地域の住民等で構成される団体がスポーツ、レクリエーション等に使用する場合に開放した。

学校跡運動施設利用状況（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

施 設 名	施 設 名	日 数	延利用人数
今一色小学校跡運動施設	体育館	137 件	888 人
	運動場	14	264
計	—	151	1,152

4 市営プール開設事業

市民の健康増進、体力の向上及びレクリエーションの振興を図るため、市営プール（やすらぎ公園プール及び御菌B＆G海洋センタープール）を開設した。

（1）やすらぎ公園プール

①開設状況

- ・開設期間 令和7年7月5日～8月31日
 ※7月7日～11日、14日～20日、30日
 8月13日～15日、18日～22日、25日～29日は休業日
- ・営業日 33日

②入場者数

大 人	小 人	付添人	合 計
4,028 人	4,863 人	297 人	9,188 人

③収入

入場料収入	ロッカー使用料	合 計
3,183,890 円	269,200 円	3,453,090 円

④委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
旭町地内	伊勢市やすらぎ公園 プール運営業務委託	管理業務一式	円 14,520,000	7. 5.14	7. 9.12

（2）御菌B＆G海洋センタープール

①開設状況

- ・開設期間 令和7年7月5日～8月31日
 ※7月7日～11日、14日～18日、21日、28日、30日
 8月4日～8日、11日～15日、18日～22日、25日～29日は休業日
- ・営業日 25日

②入場者数

市内中学生以下	市内高校生以上	市外	合 計
1,485 人	671 人	76 人	2,232 人

※その他各種教室等入場者数は565人。入場者数総合計は2,797人。

③収入

- ・入場料収入 83,060 円

④委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
御 園 町 上 條 地 内	御 園 B & G 海 洋 セ ン タ ー プ ー ル 監 視 等 業 務 委 託	監 視 業 務 一 式	円 6,325,000	7. 5. 14	7. 8. 31
//	御 園 B & G 海 洋 セ ン タ ー 水 泳 教 室 開 催 事 業 委 託	水 泳 教 室 15 回	326,500	7. 6. 9	7. 8. 31
計	2 件	—	6,651,500	—	—

5 社会体育施設整備

安全で快適な社会体育施設の充実を図るため、浄化槽維持管理、エレベーター保守点検、夜間警備、運営管理、人工芝管理、除草、清掃及び備品点検等の業務委託及び各種工事を実施し、各施設の機能を維持、修復及び向上させ、適切な運営を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
朝 熊 町 地 内	(注) 朝 熊 山 麓 公 園 清 掃 (その1) 業務委託	除草(草抜き) 一式 草刈(芝及び花含む) 一式 ゴミ清掃 一式 樹木枝払い・処分 一式	円 589,000 【契約額】 2,029,000 [維持課] 1,440,000 [スポーツ課] 589,000	7. 4. 16	7. 7. 31
//	(注) 伊 勢 フ ッ ト ボ ー ル ヴ ィ レ ッ ジ 周 辺 清 掃 業 務 委 託	除草(草抜き)、草刈 (芝及び花を含む)、 ゴミ清掃、落葉回収、 処分一式	598,000	7. 4. 21	7. 10. 31
//	(注) 朝 熊 山 麓 公 園 清 掃 (その3) 業務委託	除草(草抜き) 一式 草刈(芝及び花含む) 一式 ゴミ清掃 一式 樹木枝払い・処分 一式	589,000 【契約額】 2,029,000 [維持課] 1,440,000 [スポーツ課] 589,000	7. 8. 5	7. 10. 31

朝熊町 地内	(注) 朝熊山麓公園清掃 (その5) 業務委託	除草(草抜き) 一式 草刈(芝及び花含む) 一式 ゴミ清掃 一式 樹木枝払い・処分 一式	円 542,000 【契約額】 1,982,000 [維持課] 1,440,000 [スポーツ課] 542,000	7.11.14	8.1.30
計	4件	—	2,318,000	—	—

(注) 維持課へ執行委任

※合計は、各行の最上段を合算

(2) 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
朝熊町 地内	(注) 伊勢フットボールフィールド Aピッチ人工芝張替工 事	人工芝張り工 8,970 ㎡	円 157,672,900	7.10.7	8.2.27

(注) 基盤整備課施行

6 ネーミングライツ

財源確保のため、ネーミングライツ制度を導入している。なお、令和4年度から小俣総合体育館についてもネーミングライツ制度を導入した。

(1) 伊勢市倉田山公園野球場

【愛 称】 ダイムスタジアム伊勢

【命名権者】 株式会社ダイム

【命名権料】 年額3,000,401円(税込)

【契約期間】 平成29年4月1日～令和9年3月31日(10年間)

(2) 小俣総合体育館

【愛 称】 三重電子スマイルアリーナ小俣

【命名権者】 三重電子株式会社

【命名権料】 年額1,210,000円(税込)

【契約期間】 令和5年1月1日～令和9年12月31日(5年間)

7 指定管理者管理施設

施設の設置目的に従い、施設の効用を最大限に発揮させ、スポーツ振興の増進を図るため、指定管理者制度を導入し、管理運営を行った。特に、伊勢市小俣総合体育館及び伊勢市大仏山公園スポーツセンターについては、隣接している両施設を一括して管理運営を行った。

(1) 伊勢市北浜スポーツグラウンド

【導入開始】 平成25年4月1日

【指定管理者】 村松町会

【指定期間】 令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）

(2) 伊勢市小俣児童体育館

【導入開始】 平成29年4月1日

【指定管理者】 明野第四自治区

【指定期間】 令和7年4月1日～令和10年3月31日（3年間）

(3) 伊勢市小俣総合体育館及び伊勢市大仏山公園スポーツセンター

【導入開始】 平成30年4月1日

【指定管理者】 株式会社 スコルチャ三重

【指定期間】 令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）

教 育 研 究 所

○ 研究・研修関係

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 4. 教育研究所費

1 教育研究プロジェクト『社会科副読本「わたしたちの伊勢市」活用授業研究』

教育研究所と学校現場が連携を図りながら、地域教材の開発や郷土教育の推進に取り組み、公開研究会を行った。また、デジタル版社会科副読本の利用方法等についても、情報共有を行い、活用の推進を図った。

研究協力校	研 究 課 題
豊浜西小学校	安心して自分の思いや考えを伝え合い、深い学びへとつなげられる児童の育成 ～西豊浜の地域学習を通して～

2 教職員の資質・能力、専門性の向上をめざし、教職員研修講座を実施した。

開催日	講座名	内 容	受講者数 【※1満足度】
7.6.12	若手教職員の 学びを支える	教育相談と生徒指導の一体化において ～チームの一員として児童生徒理解の力を～	32人 【100%】
7.6.21	乳幼児教育 専門講座	あそびの中の育ちと学びを大切にする	44 人 【100%】
7.7.28	特別支援教育	多様な教育的ニーズのある子どもの理解と支援	192人 【96.1%】
7.7.30	授業づくり	算数授業づくり ～個別最適な学びを実現する前に大切なこと～	134人 ※2
7.7.31	子ども理解 教育講演会	子どものこころの理解と支援	109人 【96.8%】
7.8.5	学級経営	心理的安全性が高く学び合う学級を創るために	74人 【100%】
7.8.22 午前	授業改革①	安心と信頼が広がる場づくりを通じて、 つながり、学び合う関係づくり：基礎編	41人 【100%】
7.8.22 午後	授業改革②	安心と信頼が広がる場づくりを通じて、 つながり、学び合う関係づくり：パワー炸裂編	37人 【100%】

※1 満足度…研修会後のアンケートで、満足及びやや満足と答えた人の割合

※2 講座開始後、津波警報発表により中止。

○ カウンセリングルーム総合推進事業

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 4. 教育研究所費

1 教育相談

土・日・祝日を除き、毎日午前8時30分から午後5時まで、電話又は面談による教育相談を実施し、教育コンサルタント3人が教育相談に応じた。

【電話相談等内容別件数】

不登校	進路	学習	いじめ	友人関係	非行	クラブ	性	特別支援	心身症・神経症	子育て	生活一般	その他	計
148	20	19	3	5	1	0	2	63	9	32	82	171	555

※主訴で集計

2 学校訪問

教育コンサルタントが小中学校を訪問し、各学校の状況の把握に努め、学校からの要請に応じて相談・指導・助言を行った。また、学校が行う生徒指導において、指導助言や情報提供を行うことで、各学校における不登校やいじめ等の問題への早期発見・早期対応を図った。

【教育コンサルタント学校訪問件数：126件】

3 緊急支援員の派遣

各学校の様子及び要請に応じて緊急支援員を配置し、状況に応じた緊急的な措置を行うことにより、校内のさまざまな課題への早期対応を図った。

【緊急支援員派遣延べ日数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日数	15	59	59	39	0	60	66	51	50	49	61	39	548

4 臨床心理士によるカウンセリング

悩みをもつ保護者やその家族、児童生徒を対象に、臨床心理士によるカウンセリングを行った。相談者の不安を解消するとともに、社会的自立に向けた総合的な支援ができるように努めた。

(土曜・日曜・祝日を除き、午前9時～午後5時開設)。

毎週月曜・水曜の午後(隔週)・金曜は臨床心理士を2人体制とし、相談件数の増加に対応した。

【相談件数：1,372件】。

○ 子どもの学び場づくりサポート総合推進事業

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 4. 教育研究所費

増加する不登校への対応、誰一人取り残さない学びの保障及び多様な居場所づくりをめざし、児童生徒の総合的な支援に取り組んだ。

1 伊勢市教育支援センターNEST

(1) 教育支援センターNEST通級人数

小学生10人・中学生19人

教育支援センターNESTでは、個に応じた支援を行うとともに、体験活動や保護者面談を充実させ、不登校児童生徒の社会的自立を目指した総合的な支援を行った。

(2) 教育支援センターNEST相談等の状況（延べ件数）

電話（518件）、来所（150件）、学校訪問（306件）

土曜・日曜・祝日を除いた毎日午前8時30分から午後5時15分まで、教育支援センターNEST指導員等（3人）が教職員及び保護者からの電話又は面談による相談に応じた。また、教職経験のある教育コンサルタント2人を配置し、学校からの相談に応じるとともに、必要に応じて保護者との面接を行うなど連携を図ることで、児童生徒、保護者及び学校の支援体制を充実させた。

(3) スポーツ体験学習（ふれあい広場）の実施

毎週月曜、御園B & G海洋センター体育館で、通級生や市内小中学校の不登校傾向児童生徒を対象に、卓球やバドミントン、ソフトバレーボールなどのスポーツ体験を行った。

(4) 保護者とともに語り考える会（ホッとLine NEST 年2回）

児童生徒と直接関わる立場の教職員や保護者が、不登校・登校しぶりについて、大学教授の専門的な助言を受けるとともに、保護者同士が互いの思いを語る機会の場を提供した。

(5) NEST子ども未来サポート研修会

不登校や不登校傾向に至った要因や背景の分析、具体的な支援の方法等について学ぶ研修会を2回実施し、より専門的な指導・助言を受け、教職員の資質向上を図った。

2 子ども未来サポート会議

学校、学校教育課、教育研究所の代表が集まり、市内の不登校児童生徒の状況を踏まえ、課題解決に必要な手立て等について意見交換を行った。

3 ねすとルーム

不登校傾向の児童生徒への多様な居場所の確保と早期対応・早期支援をめざし、小学校7校に別室のサポーターを配置した。また、中学校の別室についても、ねすとルームとし、環境整備を支援した。

4 不登校の理解と対応のための保護者用資料集『ハーモニーハート』の配布

不登校はどの子どもにも起こりうるということを前提に、子どもとの接し方や学校との連携、不登校に関する新しい法律等の内容を具体的に記載した「不登校の理解と対応のための保護者用資料集『ハーモニーハート』」を新入学児童生徒の保護者に配布した。

5 全ての小中学校に非常勤講師を派遣して研究体制及びカウンセリング体制の強化を図った。

6 全ての小中学校において、児童生徒の状況に応じた指導を行うため、よりよい学校生活と友だちづくりのためのアンケート（WEBQU）を実施（年2回）。分析結果をもとに、学校訪問を行い小中学校の様子の把握に努め、必要な支援等について相談や情報共有を行った。